



TITLE:

[亀田治メモランダム  
]Memorandom7 (KDD本社) : 1981年  
7月15日-1982年8月31日

AUTHOR(S):

---

CITATION:

[亀田治メモランダム]Memorandom7 (KDD本社) : 1981年7月15日-1982年8月31日. CIAS discussion paper No.29 : <東アジア地域研究モノグラフ・シリーズ> 亀田治メモランダム(旧KDD同軸海底ケーブル建設事業覚書) 2013, 29: 237-273

ISSUE DATE:

2013-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228549>

RIGHT:

© Center for Integrated Area Studies (CIAS), Kyoto University

# Memorandum 7

(KDD 本社)

1981 年 7 月 15 日～1982 年 8 月 31 日

1981 年(昭和 56 年)

7 月

- 15 日 (水)
- ATT. Mr. McCullough より Tel.
  - 1. SCARAB charter party : 挿し替え修正部分を明日 FAX で送る.  
Para4, 8, Appx. 1 & 2.
  - 2. OK の TLX で KDD より来たら, 正式契約書をつくり, Mr. Nichols の署名をして送付する.
  - 3. SCARAB の成田一下関陸送時, Power Hut, Spare Hut も振動防止の特別とトラックに積んでほしい(可能であれば).
  - 4. 露出部分の修正については, Mr. Dodeman が日本へ行ってから協議させたい.
  - OCC 斎脇氏 より Tel.  
OLU 布設替工事の際に生じた, カプリングの問題について, 中継器メーカーから問い合わせがあるが, KDD にきいてほしい旨言うことでよいか: 了承.
  - 商船三井 より.  
KDD 丸の基地, ケーブルデポに関し, 横浜市港湾局, MO 横浜支店長らが 今後の横浜港の整備拡張計画との関連について話し合いたいので, 7 月 21 日に KDD を訪問したいとの事. 了解.
  - “先輩に感謝する会” の発起人会. (16:00~17:00)  
技計部長, 秘書室長, 庶務課長, 国際部, 関係者 ほか.  
会合開催の基本計画について打合せ.
- 16 日 (木)
- KDD 丸乗船のため, 採血し, 肝機能を調べることとなる. (保健センタにて)
  - 日韓ケーブル再埋設のための, SCARAB 用船契約に関する事案決裁(資材部所管)
  - ATT. (PT1) Mr. McCullough あて, 用船契約書に合意し, SCARAB を 18 日に発送するよう依頼の TLX 発信.
- 17 日 (金)
- 幹部会(10:00~12:00)
  - ICPC 総会への出席について, 志村常務と協議.  
ケーブル保護についての法的問題の取扱いと, ICPC 会合への対応について法務部長と協議.
  - 日韓ケーブル再埋設に関する, 工事打合せ(KDD, KCS, OST, TPI, MOC)について資料準備を技術 2 課に指示.
  - 畠山課長より, 山陰地方の漁協との協議状況について報告をうける.
- 18 日 (土)
- 出社.  
ICPC 総会(オスロ)への対応について, 志村常務と協議.
- 20 日 (月)
- 日韓ケーブル再埋設工事のため, OSI より Mr. Don Dean が 18 日来日し, また SCARAB 装置は 19 日夕刻空輸により成田に無地到着したとの報告を受ける. その状況と, 今後のスケジュール予定を社内へ回報する.
  - 役員・部長打合せ. (10:00~11:20)
  - 部内打合せ(11:30~12:30).
    - 日韓ケーブル再埋設工事への対応, (通関, 外国からの来訪者の応接, 見学者の応接, 工事打合せ準備等).
    - 管理者新給与関係の周知.
- 21 日 (火)
- ICPC 会合(オスロ)への代表派遣の事案決定処理終了, TLX を発信.
  - 志村常務より, 管理者人事(人事部案)について話しあり.
  - 横浜市港湾局 港務部長 中新井氏, 商船三井 横浜支店長前田氏, 観世氏 来訪: (9:30~10:30).  
KDD のケーブルデポの計画, 横浜港の拡張整備計画等を話し合う.

- 22 日  
(水) ・全国まき網漁業協会 宮本専務理事に、境港(島根県)の関係組合訪問について報告と、謝を述べる。会長(金子岩三代議士)に表敬するよう求められ、志村常務とあいさつに行くよう検討する。  
・ケーブルデポの候補地調査状況を志村常務に説明(15:00~16:00)  
・SCARAB, 成田における通関 終了。  
・全国まき網漁業協会 金子岩三代議士訪問表敬の件につき、総務部大矢役に相談。
- 23 日  
(木) ・全国まき網漁協 宮本専務理事より Tel.  
金子会長への表敬の件、会長の日程多忙で本日は無理、日を改めてほしい旨、秘書から連絡があった。後日、また 機会を造ってもらうこととなる。  
・秘書室 小鷹秘書役より。  
宮副社長、志村常務の下関訪問予定について連絡あり。  
・ICPC, 総会(オスロ)への対処方針作成について、猪股課長、山本(昭)補佐と協議。  
・高橋次長に、次の件、指示。  
(1) 実施計画作成方法に関する計画部門主催の打合せ(7/30)への出席  
(2) 局所長会議 資料の作成  
(3) 考査コメントへの回答。  
(4) 組織、分掌に関する文書課からの相談への対応。  
・SCARAB 通関に伴う、東京税関成田支所へのあいさつ、高橋次長に依頼。  
・NASC 古橋社長へ日韓ケーブル再埋設工事のため、下関、KDD 丸乗船 出張のあいさつ。
- 24 日  
(金) ・日韓ケーブル再埋設工事のため、下関へ出張。
- 25 日  
(土) ・三菱造船所へ。  
SCARAB 成田より 陸送で到着、9:30。  
開梱。
- 26 日  
(日) ・三菱 松本部長と会う。
- 27 日  
(月) ・KDD 丸船上で、SCARAB 結線 Test, KDD/KCS 打合せ。(ケーブル整理について)  
KCS 小林部長と マリンホテルへ志村常務を訪問、状況報告。
- 28 日  
(火) ・KDD 丸船上での SCARAB Test, クレーン不調。  
・夜、MOC, OSI 社長, KCS 社長らの 志村常務招宴。(中央飯店)  
・夜、TPI. Mr. Dodeman 来着。
- 29 日  
(水) ・KDD 丸にて、KDD, MOC, TPI, KCS, OSI 間打合。  
・宮副社長、中込取締役 来 下関、SCARAB 視察。  
・SCARAB 調整 終了。  
・KCS 社長招宴。KDD, KCS 乗船者、MOC, TPI 代表ら。
- 30 日  
(木) ・9:30 三菱重工 下関造船所ドック 出航。  
台風 10 号の影響で現地で天気待ち。
- 31 日(金)~8月1日(土)  
・SCARAB を揚降し、潜水、操縦テストするも、動作不良のため、TPI 代表より、下関 帰港。  
修理を提案される。  
本社、志村常務に報告し、止むなしとの判断を TPI に伝える。  
KDD 丸 下関へ戻る。

- 2 日      ・ 下関にて下船。  
(日)
- 3 日      ・ 山口県漁連事ム所(漁連ビル)を訪問。  
(月)      再埋設工事の計画変更について説明。  
            宇部空港より 空路 帰京。
- 4 日      ・ 本社にて、志村常務に状況を報告。  
(火)      ・ 社内打合せ、(10:00~12:00)KCS 会議室。  
            SCARAB 修理に伴ない発生する経費の負担について、MOC と協議のため事前に社内関係部門  
            (経理、国際、法務、資材、海技建)と協議。  
            ・ 社内打合せ(14:00~ ) (経理、資材、海技建)。  
            日韓ケーブルの R-24 の障害原因について MOC に説明するための社内事前協議。
- 5 日      ・ MOC 代表(Mr. Pack 他 1 名)と打合せ。  
(水)      午前：SCARAB 修理の件に伴なう経費の措置について  
            午後：R-24 の障害原因について。  
            ・ SCARAB の修理スケジュールと、再埋設時のケーブル整理について Mr. Dodeman から提案が  
            あり、それについて、KCS と打合せ(17:00~ )。  
            要員の増加、所要機材の準備、出航スケジュール等 について討議。  
            ・ 上記に関する工事費の見直しについて、検討するよう 2 課へ指示。
- 6 日      ・ MOC 代表 帰国、畠山課長アテンド。  
(木)      ・ KDD 丸乗船の KDD メンバーについて、織間部長と協議。  
            ・ SCARAB 修理専門家、来日。成田より福岡へ transit。夜、下関着。  
            成田での通関を、山本補佐、日通で 支援。  
            ・ OCC 斎脇氏 来訪。(14:00~ )：ANZCAN の nego で、coupling の問題がでた。
- 7 日      ・ 部内関係者(次長、猪股課長、矢口、山本補佐、湯口役)と当面の措置について協議。  
(金)      ・ TPI、KCS との協議・連絡系統の明確化、(ローカルな協議で事を運ばぬこと)。  
            ・ 出航目標日を設定(16 日とする)のため、KCS、建設部と協議のこと。  
            ・ MOC への TLX。  
            ・ 畠山課長を 下関での KDD 側 contact とする。  
            ・ KDD 丸船上の Mr. Dodeman と Tel. 8 月 15 日 or 16 日出航について了解を得る。  
            ・ 志村常務に状況報告。(11:30、自宅へ Tel)  
            ・ 畠山課長に Tel. : contact として動くよう指示。  
            ・ KCS 江副顧問：埋設機の深度増の開発について。
- 8 日      ・ 出社。  
(土)      ・ TPI より、SCARAB 修理等の STATUS REPORT 提出さる。
- 10 日     ・ 人事異動：佐藤正紀君 海技部へ。  
(月)     ・ 志村常務に、SCARAB 関係の現状報告。(15:00~16:00)  
            TPI 提出の Status Report, MOC との打合状況など。  
            ・ NASC/亜東協会 懇親会(ホテルオークラ、桃花林)  
            ・ 志村常ムより。辰巳倉庫 内藤専ム、後藤常務が来訪し、鶴見の土地は隣接のアジア石油よ  
            り譲渡希望の申出があるので、KDD への話しは取り下げたいとの話しである。KDD のヨビ機  
            材の保管契約は昭 59 年まであり、又別にデポを計画しても実現が 59 年を越すこともあり  
            得るので、それをアジア石油側に了解してもらうよう伝えてもらうこととした。

- 11 日 (火) ・木村所長(ソウル)より TEL.  
 SCARAB 修理後の再埋設工事の再開に当って、MOC は代表を派遣しないで、KDD に委せることを考えている模様とのこと、(旅費がないためとのこと).  
 ・局所長会議資料原稿、常務の閲覧を受け総ム部へ提出.  
 ・畠山課長(KDD 丸)より、SCARAB の Sea Trial について、TPI との協議状況の報告あり.  
 ・辰巳倉庫土地譲渡の件(前頁)、建設部 糸居次長に伝達.
- 12 日 (水) ・SCARAB Sea Trial の計画詳細、畠山課長より、報告.  
 ・木下所長(ソウル)より Tel.  
 MOC 次官 李保全局長が、再埋設工事の終了後、下関で SCARAB を見たいと希望しているが、それを KDD が招待して呉れないか、との意向を示している。(Mr. Y.K. Kim からの話し)、志村常務にも電話で、話してある。検討し好い返事を待つ。  
 ・山口県漁連、富永指導課長より Tel がほしいとのことで、仙崎漁協訪問中の同氏に Tel. SCARAB 再埋設工事の遅延スケジュールの確認、前(8月3日)に説明した通りと回答、これから、仙崎漁協に、工事スケジュールの変更について説明するとの事。  
 ・MOC より、再埋設工事の再開に当り、代表を派遣できない、KDD に委せる旨の TLX あり.
- 8/13(木)～8/16(日)  
 ・下関、浜田へ出張。  
 SCARAB 修理完了後、KDD 丸に乗船の予定であったが、SCARAB のスラスタ故障のため、再埋設工事は再度中断.
- 17 日 (月) ・志村常務に状況を報告.  
 ・NEC 田畑氏 来訪：ANZCAN ケーブル E 区間の布設に、KDD 丸の代りに CW 船マーキュリを使用することになったため、KDD への了解を得たいとのこと、了承。(KDD へ文書が出される)
- 18 日 (火) ・ATT Mr. McCullough より Tel. 9:50～.  
 SCARAB スラスタの修理日数は、焼損したモータが返送されてみないと分らない、明らかになり次第連絡する、(20 日～21 日ごろ)。KDD の求めに応じ、訪日してもよい。  
 ・上記について、Mr. Dodeman(下関)に連絡。  
 ・Mr. Dodeman も Mr. McCullough の来日を望んでいる。
- 19 日 (水) ・光海底ケーブル方式開発について、NTT/KDD 間の技術協力をどのようにするか社内打合(技計部主催)10:00～12:00  
 技計、海技・建、研究所 関係者。  
 ・研究所 新納君と昼食。  
 ・海技部 打合：16:00～17:00。  
 ・今後の仕事の進め方と、仕事の割り振り。  
 基本的考え方：海技部本来の業務として、また 事業計画(設備計画)の作成方法の改善にも沿って、将来展望を立て乍ら仕事を進めたい、すなわち、  
 1. ケーブル網の発展動向。  
 2. 光ケーブル等の新技術の開発の動向と導入計画。  
 3. ケーブル船の計画。  
 4. ケーブル船基地 計画。  
 5. 同軸、光の併存に対する建設、保守。  
 等をどのように検討するか。  
 当面の問題としては、日中ケーブルの障害対策(抜本的な)をどう進めるか。  
 これらの問題について、スタッフメンバーが、ラインと協力し担務すること。
- 20 日 (木) ・志村常務 より。  
 国際通信技術懇談会 第2回会合(9月20日)の資料準備について、

- “海底ケーブル/通信衛星のコスト比較に基く、将来展望,”  
湯口調査役に調査を指示.
- ・シンガポールーメダン間のケーブルルート調査について, NEC 田畑氏, 海外営業 岡北東アジア課長 ほか 来訪. 海協部, 海建部, 関係者とともに協議.
  - ・ジオメックス社からの NEC への approach については, NEC として対応.
- 21 日 (金) ・ SCARAB スラスターモータの修理見通しについて, Mr. Dodeman が米本国へ状況をきき, 明日, KDD に連絡するとのこと. (畠山課長より)
- 22 日 (土) 休み
- 24 日 (月) ・ ASEAN M-S-T ケーブルを受注したに伴い, KDD 丸を布設に使用したいとの富士通の意向について, 副社長, 社長に報告.
- ・MOC, Mr. Pack より, SCARAB の修理状況の問い合わせ.
- 25 日 (火) ・ Mr. McCullough より Tel.
- スラスターモータの修理見込みについては, 検討中で, 二, 三日後に状況が明らかになり次第連絡する. ICPC 会合へは, ほかの人に代ってもらう (SCARAB の方が重要なので), 日本へは状況が明らかになったら行く.
- ・ ICPC 年次総会への対処方針を志村常務に説明, 了承を得て, 事案処理を進める.
  - ・富士通 室井顧問より Tel. Meridian(?) ケーブル(スペインーベルギー)への応札中の状況について (WE Co. の SG 方式に対し, 36M で苦戦とのこと).
- 26 日 (水) ・ 新形埋設機開発に関する打合せ. (関係役員懇)
- 開発方針, 態勢, スケジュール等.
- ・ ICPC 総会対処方針事案, 副社長に報告.
- 27 日 (木) ・ ATT. Mr. McCullough より TLX と Tel. (9:30~).
- スカラブ関連で, 日本へ来る件 及び, スラスタ モータの修理後返送日程等.
- ・ Mr. McCullough の受入れについて準備 (東京, 下関のホテル, 東京ー下関のフライト)
  - ・ ソウル木下所長に状況を知らせる Tel.
  - ・ “先輩に感謝する会” (18:00~ )にて現役職員を代表し, あいさつ.
- 28 日 (金) ・ 部長会 欠席.
- ・ SCARAB operation の予定スケジュールを MOC に通知.
  - ・ 海底線両部の要員について, 両部間次課長と打合せ.  
(56 年度以降の要員について人事部へ提出のため).
  - ・ 郵政省 電政局 技術室へ, 日中ケーブル関係の経緯と現状について資料により説明 (猪股課長).
  - ・ 畠山課長, 松崎主任とスカラブ関係の進め方, 日中ケーブル修復に関する問題への対応等について協議.
- 29 日 (土) ・ 出社.
- 30 日 (日) ・ Mr. McCullough を成田空港で出迎え.
- Mr. Larsen (GNTC) が家族を迎えに来ているのに会う.
- 31 日 (月) ・ Mr. McCullough と KDD ビルで discussion.
- ・ 昼食, 32F, 志村常務.

- ・ 16:00 羽田発 JAL で福岡へ。  
福岡より TAX で下関東急イン着, 7 時半.
- ・ Mr. Dodeman, Mullen らと 夕食.

## 9 月

- 1 日      ・ KDD 丸にて, SCARAB の状況を見る.  
(火)      ・ 夜, 壇之浦にて, ATT (TPI), OSI, KDD, KCS で会食.
- 2 日～3 日  
          ・ 台風 18 号の通過を待ちつつ, 打合せ等.
- 4 日(金)～5 日(土)  
          ・ 下関 出航の KDD 丸に乗船し, Mr. McCullough と共に Sea Trial を視察.
- 6 日      ・ 下関 帰港, 下船.  
(日)      Mr. Boome, Mr. McCullough と福岡へ向い, Mr. McCullough と東京へ向う.  
          ・ 帰宅 7 時 10 分.
- 7 日      ・ Mr. McCullough と KDD ビルで, SCARAB による TPC 系ケーブルの phone and cable の  
(月)      inspection について discussion. (10:00～12:00)  
          ・ 志村常務による昼食招待(Century Hyatt, 賀茂川.)  
          ・ ICPC 年次総会に出席の, 織間部長, 山本補佐から話をきく.
- 8 日      ・ SCARAB 関係: ケーブル Final Splice 部の回収, 整理 順調に進む.  
(火)      ・ 三信工業 桐山社長, 岡本常務 来訪: OLU ケーブル再布設に強化プラスチックを使ったこ  
          とに対し, あいさつ.  
          ・ 成城同窓の荒木君と懇談.
- 9 日      ・ 日中ケーブル障害の抜本策推進についての部内打合せ, 14:00～.  
(水)      ・ 併せて, 日韓ケーブル再埋設工事終了後の SCARAB による TPC-1 沿岸部の調査について  
          討議.
- 10 日     ・ SCARAB による TPC-1 調査計画について, 検討.  
(木)
- 11 日     ・ 幹部会.  
(金)     ・ TPC-1 調査の事案決定文書の作成.
- 12 日     ・ 日建ケーブル再埋設工事, 最終段階に入る.  
(土)
- 14 日     KDD 丸の下関帰港を出迎えに, 下関へ出張するも, 工事終了が遅延し, 15 日に帰京.  
(月)
- 15 日     (敬老の日)  
(火)     ・ 日韓ケーブル再埋設工事 終了, 16 日 午前 3:00 時, 下関入港 10 時.
- 16 日     ・ 昭 56 年度 局所長会議.  
(水)     午前 全体会議, 午後 個別会議.  
          ・ 会長, 社長 招宴.



- 17 日 (木) ・新形埋設機開発の推進について、志村常務、織間部長と協議。(15:00~16:30)  
再埋設機については、研究所が協力し、基本検討(各案の比較、評価)を行なう。  
・西本総務部長より。  
日韓大陸棚開発の協議が日韓間で11月に行われる。その区域を通る日中ケーブルの保護について、問題を提起しているが、今回11月会合では、議題にのぼらない。継続審議とするため、当事者(KDD, MOC)間で話し合っている実績をつくっておいてほしいと、郵政省から要望された。  
木下ソウル事業所長に話し、MOCと話し合ってもらおうよう、頼んでほしい。了承。
- 18 日 (金) ・下関より上京のTPI Mr. Dodemanと二宮へ、中継所でスカラブ用25Hzの点検。  
午後、熱海へ。New Fujiya HoTel 泊。
- 19 日 (土) ・網代港より、KDD丸に作業艇で乗船、船長、KCS 小林部長、KDD 高橋海技次長に会い、慰労と激励。
- 21 日 (月) ・SCARABによるTPC-1の調査：SCARABの調子不良で難航。  
・役員・部長打合せ、10:00~11:00。
- 22 日 (火) ・KDD丸 高橋次長より、海底の状況が悪く、アンビリカルケーブルの長さにも限度がきたので、水深740mの所で調査を打切る、旨連絡あり。(9:50)  
・スカラブ揚収が、ケーブル・ロープの絡みで困難との通報、慎重な対処を望み、事態の推移を見守ることとする。  
・ソウル事務所長木下君と、打合せ(17:00~18:00)。  
MOCへ①日韓大陸棚開発における日中ケーブル保護、②SCARABによる再埋設工事の関係、について、話をしてもらうこととする。  
・シンガポール、ソウル両事務所長(石井、木下両君)と懇談(シャウウッド)。
- 23 日 (水) ・秋分の日(祝日)。  
・夕刻、スカラブに絡んでいたケーブルを外すことに成功の連絡が、KDD丸 高橋次長よりあり。
- 24 日 (木) ・SCARABをTPC-1に使用する件の説明のため、東京税関成田支署に行く、2課、山本補佐同行、辻審査官、中西次長に会い、説明と理解の要望。  
・TPI. Mr. Dodemanとの打合せを畠山課長に指示。  
・SCARAB作業終了に伴う、後処理、措置の確認。
- 25 日 (金) ・幹部会。(10:00~12:00)  
・新技術開発委員会(14:00~17:50)  
・Mr. Gaylord Chan(C&W)の招待により、会食(京王プラザホテル)  
志村常務、福地常務、ほか関係者。
- 26 日 (土) ・休み。  
桂井氏夫妻、来訪。
- 27 日 (日) ・伝送同門会 G.C. (五日市 C.C)
- 28 日 (月) ・役員・部長 打合せ なし、(臨時常務会のため)。  
・二宮中継所 松本所長より。  
TPC-1の調査に関し、漁協関係者への協力を謝する会合の開催について。  
・NTT 通研 吉田庄司氏より、“永井先生を囲む会”の開催について、KDD 新宿会館を使用する

- ことに伴う、出席参加の要請：了承。
- ・OCC 新山下工場 訪問：光ケーブルの製造設備の視察と懇談。  
14:30～志村常務ほか、研究所関係者。
- 29 日  
(火) ・日韓 再埋設工事の報告、MOC との会合、および日中ケーブル障害対策の今後の進め方等を検討。
- 30 日  
(水) ・長期構想に関する打合せ(第1回)、10:00～12:00。  
志村常務 以下。  
・日韓、日中ケーブル関連の今後の作業について、次長、課長と討議。
- 10 月
- 1 日  
(木) 休み。
- 2 日  
(金) ・幹部会、10:00～12:40。  
・海技部 打合せ、13:40～16:00。  
・当面の状況。  
・日韓・日中ケーブル関連の作業の進め方。
- 3 日  
(土) ・志村常務と討議。  
・日中ケーブル対策の進め方と、関連技術開発の社内決定のし方。  
・長期構想の進め方。  
・部レク旅行(戸倉、上山田温泉)。  
10月3日～4日。
- 5 日  
(月) ・役員・部長 打合せ。(10:00～11:00)  
・日中ケーブル対策の推進 と 埋設技術開発の推進の関連について、  
常務、海技・建部長、技計部吉田次長、太田課長と討議、11:00～12:00。  
・海底ケーブル委、技術小委員会。(第6回)14:00～17:30
- 6 日  
(火) ・次長、2課長と、日中ケーブル臨時障害対策協議会開催に向けての準備打合せ、  
9:30～10:30。  
・TPC-3 陸揚地の調査の進め方について、部内関係者打合せ。(11:00～12:00)  
江幡役、湯口役、矢口補佐、高橋次長 ら。
- 7 日  
(水) ・海底ケーブル委計画小委員会、(14:00～16:30)。  
TPC-3 計画の見直し、沖一本ケーブルの NTT 接衝状況など。
- 8 日  
(木) ・日韓ケーブル再埋設工事の完了報告(志村常務宛)の作成を進める。  
・NEC 鈴木(欽)氏 来訪。  
PENANG-MEDAN ケーブルの応札に当り、KDD 丸の使用を依頼してくる。  
'83 の後半なら可能と返事。  
・JASC に漁網がかかり、レベル変化が起きたと、直江津より情報。
- 9 日  
(金) ・幹部会議(10:00～12:45)  
・東北大松尾教授より依頼され、ブルガリアソフィア大講師 Mr. Stoyanov(東北大留学中)  
及び夫人に対し、KDD ビル内施設見学を案内(水野君に依頼)。  
・次長と人事問題を協議。  
・NEC 田畑氏より、PENANG-MEDAN ケーブルへの KDD 丸の使用について問合せ。  
・直江津 柳原所長より、JASC ケーブルの漁網によるトラブルについて Tel. あり、漁協に

- よく話すよう依頼。また、2 課に MARCAS による inspection の検討を指示。
  - ・スカラブによる工事の関係者の慰労宴(常務主催)。新宿会館
- 12 日  
(月)
  - ・部内打合せ。
  - 幹部会議の様態など。
  - ・日刊工業紙に、NTT/KDD の光海底ケーブルの共同開発の記事が出て、富士通 新川顧問、郵政省 松尾技術室長から問い合わせの Tel. 事ムレベルでの話し合いの程度であることを説明。
- 13 日  
(火)
  - ・午前、小金井、自動車運転免許証 更新。
  - ・午後、出社、日中ケーブル臨障協 会議資料 作成。
- 14 日  
(水)
  - ・海底ケーブル委員会(第 8 回) : 14:00~16:30.
  - ・TPC-3 計画の見直し、(計画小委)。
  - ・海底ケーブル技術開発関係(技術小委)。
  - ・光海底ケーブル方式に関する技術協力協定について、NTT と事ムレベルの話し合いをするための、資料について打合せ、(技計部主管)。
- 15 日  
(木)
  - ・日韓ケーブル再埋設工事完了報告の作成。
- 16 日  
(金)
  - ・幹部会議、10:00~12:30.
  - ・臨時障害対策協議会(日中ケーブル)第 3 回会合の資料作成について、佐藤君に指示。
- 17 日  
(土)
  - 出社。
  - スカラブの写真 整理。
- 19 日  
(月)
  - ・役員・部長打合せ、10:00~11:20.
  - ・新技術開発委員会、14:30~17:45.
  - ・副社長に、SCARAB による日韓ケーブル再埋設工事の完了について、報告。
- 20 日  
(火)
  - ・午前、胃 X 線検査、佼成病院にて。
  - 午後、出社。
- 21 日  
(水)
  - ・日中ケーブル臨時障害対策協議会 第 3 回会合(14:00~16:30)。
  - ・対策及びその推進について。
    - ・いかなる対策案がよいか、結論を得るに到らず。
    - ・中国側の意向打診、技術的検討、をさらに進めたうえでないと、KDD としての案が確定できない。
- 22 日  
(木)
  - ・日中ケーブル障害対策をどう進めるか、前日の臨障協会合の意見を踏まえ部内で討議。(建設部長も交え)。(14:00~15:30)
  - ・FJT. 室井顧問より Tel. ベルギースペイン間ケーブルの入札の結果、フランスが受注し、日本はとれなかったとのこと。
  - ・研究所 天野、新納、江尻君ら、光ケーブルの研究開発に関する BTL との打合せ会合(米国、10 月 13~14)の結果について報告に来訪。(17:00~ )
- 23 日  
(金)
  - ・電気通信記念日。
  - ・日韓ケーブル再埋設工事についての MOC との協議、ACMC 第 6 回会合への対応、日中ケーブ

- ル障害対策についての SPT との協議，等につき志村常務に意見を述べる．
- ・ 荅北町 浜崎町長，浜口 町議会議長 ほか，KDD へ来社．（15:00～16:00）
- 九電の火力発電所建設問題について，町，漁協が了解したので関係省庁への挨拶に上京し，当社へも挨拶にきたもの．
- 社長，福地常ム，志村常務，東支保全部長，小職らで会う．
- ・ OCC 斎脇氏 来訪．（16:30～17:20）
    - ・ 光ケーブルの動向．
    - ・ 日中ケーブル対策，ケーブルの圧壊試験など，懇談．
- 24 日 週休  
(土)
- 26 日 幹部に対するパソコン講習会(人事部，コンピュータシステム部 主催)に参加，聴講，  
(月) 9:30～12:00，13:30～17:00．
- 27 日 同上，午後，13:30～17:00．  
(火)
- 28 日 午前，佼成病院：胃カメラ．  
(水) 午後，出社．
- 29 日 57 年度技術開発の中で調査項目とする“光海底ケーブル方式の開発”のグループ構想，  
(木) リーダ，方針などについて，部内協議．
- ・ 同友会との懇親会，京王プラザホテル．
- あと，石川，内山君と懇談．
- 30 日 埋設機，探線機の開発のため，海洋実験を行なう計画について，組合へ説明協議．  
(金) (10:～10:30)
- ・ 直江津 海底線中継所 柳原所長より Tel．
- 漁協との話し合いについて：船頭の集会に出席した模様など．
- 11 月**
- 2 日 SCARAB による日韓ケーブルの再埋設，及び TPC-1 の二宮沖ケーブルの調査のビデオ記録  
(月) をみる：[KCS にて編集したもの] 13:30～16:00．
- 3 日 祝日．
- 4 日 海底ケーブル計画(長計 23 号)案の総企会審議に参加，15:30～17:00．  
(水) 日中ケーブル障害対策について，SPT と情報交換，意見交換する件について
- 宮副社長に説明：あまり大げさでなく気軽に接触を望むとのコメントあり．
- 5 日 2 級，3 級 管理者の評定記録表を常務に提出．  
(木) 4 級，5 級 “ ” 人事部長に提出．
- ・ 佼成病院：胃カメラの結果をきく．
  - ・ NEC 田畑氏，鈴木(欽也)氏，別個に来訪
- Medan-Penang(MENAN)ケーブルの応札について．
- KDD 丸の使用は，スケジュール上，不都合のため，NTT に要望し，黒潮丸を借りるつもりで  
応札書を出す，(黒潮丸，その他の船によるとする)．
- 6 日 部内打合せ，(10:00～11:30)．  
(金) ケーブル計画の状況と，今後の施策，など打合せ．

- ・ NTT 武蔵野通研 施設公開，を見る(午後).
- 7 日      ・ 出社.  
(土)      ・ 太平洋方面のケーブル計画に対する多角的検討の要について，志村常ムより，話しあり.  
          ・ ルート選択を，既設ケーブル(TPC-1, 2)の life と，最適網構成の両面からとらえること.  
          ・ 日本ーハワイ，日本ー米本土，グワム経由ハワイ，での長さの差異.  
          ・ TPC-1 の使用限界年数と，グワム経由豪州へのルートの確保.  
          ・ 手段.
- 9 日      ・ 幹部会議(10:30～12:00)  
(月)      ・ 中間決算報告など.  
          ・ 猪股課長より：57 年度事業計画として，経理部へ送付するケーブル関係の案の説明：了承.
- 10 日     ・ ㊸～  
(火)     ・ ケーブル保管庫 及びケーブル船に関する 部内討議(13:30～16:30).
- 11 日     ・ 総務部 榎本 監理課長より.  
(水)     ・ 叙勲に絡み，元 KCS 社長森氏を明年 4 月 1 日創業記念日に社外功労者として表彰することとしたので，その功績に関する資料を提供してほしいとの依頼.  
          ・ KCS 関 総務部長にも話しておくよう求める.  
          ・ 小山送信所敷地内で実施中の，新形埋設機に関する第 2 次実験(1/2.5 モデルによる)を見る，志村常務に同行(14:06 上野発 往，17:25 小山発 復).
- 12 日     ・ 直江津 出張 11/12～11/13，畠山，松崎 両君同行.  
(木)     ・ 9:16 上野 発， 13:30 直江津 着.  
          ・ 直江津漁協 宮本組合長宅を訪問，あいさつ，石山次長案内.  
          ・ 柳原所長の案内で，名立漁協を訪問し，斎藤組合長にあいさつ.  
          ・ 夜，神田次長，田中寛君と 夕食.
- 13 日     ・ 新潟市へ，第九管区海上保安本部 訪問.  
(金)     ・ 松崎本部長，後藤次長 にあいさつ.  
          ・ 午後 14:48 発 特急で帰京.
- 14 日     ・ 休み.  
(土)
- 16 日     ・ 役員・部長 打合せ，9:00～9:50.  
(月)     ・ 猪股課長より，富士通からの希望で，デンマークーオランダケーブルの技術打合せで来日する技術者(デンマーク PTT4 名，BTI 3 名，オランダ PTT 1 名)が，埋設，及び修理に関し，KDD と discuss したいとのこと．12 月 10 日午後を予定し，先方から talking item をきいて，FJT 社より正式に依頼したいとのこと．了解.  
          ・ 江幡君より，日中ケーブル中継器 SV でルート沿いの温度測定を行っていることに東大海洋研寺本教授が関心をもち，データを見たい，近く中国から海洋関係の専門家が来るので討議したいとのこと．外部へ資料を出すことについての社内処理を検討のうえ措置するよう指示.  
          ・ 松本浩太郎氏の告別式(四谷，12:00～13:00).  
          ・ SPT へ，日中ケーブル障害対策に関し，Tel. (水野→汪義舟).  
          ・ SCARAB 経費について，ATT からの配分案の検討.  
          ・ 畠山，山本両君から説明を受け，ATT へのコメントについて討議.  
          ・ 喜安さんを囲む会(竹橋会館).

- 17 日 (火) ・国際部 里見部長より。  
 ・ANZCAN ケーブルの建設推進のため、Management Comm. が設置されているが、その KDD 代表として、国際部長、sub. として国際部佐藤次長、総計部渡辺(恭)次長のほかに海技部から一人出してほしい。  
 技術部 1 課長を当てることとする。  
 ・三信工業 樽松氏、来訪、(15:00~16:00) 雑談。  
 ・光海底ケーブルの開発における、メーカーの役割りと立場、日米間の経済摩擦の問題(半導体、コンデンサなどの部品輸出が減少、現地での組立て、等)など。  
 ・技計部 吉田次長、より。  
 ・沖一本ケーブルについて、KDD 社長が郵政省電政局長への説明が求められており、最終段階に来ている模様(郵政省の判断に NTT も従うことは止むを得ぬとの状況か。)  
 ・WE Co. との特許契約問題：技術範囲を限定することで双方が妥当とする線がでるかどう  
 か協議。  
 ・研究所 高橋次長、技計部 服部課長に、COHDE Corporation 原沢氏からのファックス用感熱紙に導電性ポリマ(同社開発)が使用できるかどうかの検討依頼に関し、調査を求める。
- 18 日 (水) ・NEC 田畑氏より Tel。  
 シンガポール-メダンケーブルの入札が近く行われる。インドネシアからの情報では、入札締め切り '82 年、1 月末、システム完成は '83 年末目標とのことである。  
 (応札に当り、KDD 丸の使用が問題になる可能性あり。)  
 ・SCARAB 経費の TPC-1 への配分について、ATT 案に対する反論 TLX 案を山本君と討議。
- 19 日 (木) ・光海底ケーブル開発計画に関する役員・部長間打合せの対応について、猪股・湯口両君と討議。(14:00~15:30)
- 20 日 (金) ・幹部会議(10:00~12:00)  
 ・研究所 田森君急逝し、その告別式に中村社宅へ。(13:00~ )。  
 ・KCS 関 総務部長へ Tel: 元 KCS 社長森氏の事績について。  
 ・全国まき網漁協 官本専務理事に Tel。  
 金子会長へのあいさつを年内に行ないたい旨伝える。  
 ・原沢堅治氏より依頼の件、(導電性ポリマーの test)。  
 研究所 高橋次長より、現状を聞いたうえでないと判断できないとのことで、来る 24 日(火)に研究所を訪問するよう原沢氏と連絡。
- 21 日 (土) ・出社。
- 23 日 (月) 祝日(勤労感謝の日)
- 24 日 (火) ・志村常務に、状況報告。  
 1. 日中ケーブル、SPT に電話連絡し(16 日)、返事 待ち。  
 2. 日韓ケーブル再埋設工事の報告打合会議、MOC の都合で明年に延期。  
 3. 全国まき網漁業協会 金子会長へのあいさつ。先方の都合を問い合せ中。  
 ・COHDE Corporation 原沢氏 来訪、(13:30~14:20)。  
 研究所へ紹介。  
 ・FJT. 室井顧問 来訪。  
 1. デンマーク-オランダケーブル関係の技術打合せに伴う、各国 PTT 代表の KDD, KDD 丸の訪問。  
 2. M-S-T ケーブルの布設に伴う、KDD 丸使用についての KCS との折衝状況。



- 25 日 (水) ・ SCARAB による日韓ケーブルの再埋設，ならびに TPC-1 の調査の状況を記録したビデオテープを関係者に披露。  
午前，：志村常務，KCS 木村社長，技計部，など。  
午後：東京支社長福地常務，関係部長 ほか。  
・ 光海底ケーブル開発に関する関係役員懇の資料等の打合せ。  
湯口役，猪股課長 ら．(16:30～17:30)  
・ マドリッドより帰国の柴田(清)君の歓迎会(三井ビル，きくみ)。  
石川，内山，小関 君，東北大同窓関係。
- 26 日 (木) ・ 富士通 磯部氏 ほか 国際協力部より，デンマーク・オランダ海底ケーブルの建設について打合せのため来日する，各主管庁技術者などの KDD 訪問，KDD 丸見学に対する依頼文書を持参，(海外協力部あて)。
- 27 日 (金) ・ 幹部会議．(10:00～12:00)  
・ 光海底ケーブル開発に関する関係役員，部長 打合せ(14:00～16:30)  
・ 小林夏雄さんの叙勲祝(通研線路会主催)に出席，(京橋会館)。
- 28 日 (土) 休み。  
東北大 同級ゴルフ，常盤湯本にて．(いわき市植田 泊)。
- 30 日 (月) ・ 定期 健康診断。
- 12 月**
- 1 日 (火) ・ ケーブル船に関する検討状況について，江幡君より報告，部内で検討，(10:00～ )。  
・ CBC の明年度幹事の依頼，及び，KDD 新宿会館の継続使用について，竹中君，田代君らと協議。KDD 新宿会館の使用について，労厚部 大矢 労厚課長，東支 労厚課 本多補佐らに問合せと，懇請。  
・ ケーブルデポに関する部内検討(次・課長 ほか関係者)。  
・ 全国まき網漁業協会 金子岩三会長へのあいさつ訪問について，同協会 宮本誠専務理事と打合せ。3 日午後の約束を取り付ける。  
・ 国際部長より，ASEAN T-M-S ケーブルの布設における KDD 丸使用時の問題として他作業従事時に，保守範囲のケーブルに障害が起きた場合 24hour 内に修理に向う義務について富士通室井氏より免除方を要請されたとのこと。他船の back-up で問題ない旨，答える。
- 2 日 (水) ・ 校成病院，胃カメラ，結果良。  
・ 午後・出社。  
SPT より，KDD との打合せについて同意の旨，水野君より電話問合せの結果について報告あり。  
・ 光ケーブルの開発の進め方について，役員，部長 打合せ。(15:00～17:30)  
志村，中込，大山，鍛冶，亀田，ほか(太田，湯口，新納)  
・ OLU ケーブルのパイロットに微小変化・出現と，ETPI より TLX 来信。
- 3 日 (木) ・ 全国まき網漁業協会の金子岩三会長(自民党議員)を，第 2 議員会館に，志村常務に同行し，訪問。(15:00 のアポイントメント)  
日中，日韓ケーブルの現状と，その保護について まき網漁業関係者の協力を得たい旨，説明。  
同会長より次の指示あり。  
・ 協同組合に話すより，船長，漁撈長等へ直接伝わるようそれらの会議等を利用して協力を求めたらよい。  
なお，同会長への面会には，宮本専務理事の仲介の労を求めた。

- 4 日  
(金)
- ・ 畠山、江幡両君に全国まき網協会金子先生を訪問した件を話し、具体的には宮本専務事と協議する様指示。
  - ・ 宮本氏に Tel. し、12 月中旬、長崎方面その他のまき網漁協関係を訪問すること、船長会議、漁撈長会議に関し、開催等の情報を得たいこと、漁具補償についての方向を相談したいこと、そのため江幡君ほかが訪問(赤坂の事ム所)したいことを伝える。回答として 12 月 7 日(月)午後、同所の遠洋まき網協会尾崎理事も同席し、面談することとなる。
  - ・ 産業図書出版 野口 氏より Tel.  
近く出版を計画している海洋土木ハンドブックに、海底ケーブルの布設・埋設等の関係を含める件について意見をききたいとのこと。  
12 月 7 日(月)、午前 11:15 に面会を了承。
  - ・ 午後、二宮方面 関係漁協(五ッ浦、前川、二宮、相模湾振興協会)と懇親。(大磯、滄浪閣にて、15:00~17:00)。
- 7 日  
(月)
- ・ 役員・部長 打合せ。(9:00~10:00)。
  - ・ (株)産業調査会 野口氏 来訪。(11:00~11:30)。  
「海洋土木事典」の企画(57 年 9 月発行予定)の中で、海底ケーブル関係について、執筆、まとめの協力依頼。  
趣意は了解、依頼文書を要望。
  - ・ NEC 図書「国際海底ケーブル通信」の英訳の推進打合せ。(14:00~16:00)  
KEC 主催、各編 責任者で会合。
- 8 日  
(火)
- ・ 前日話しのあった、「海洋土木事典」の中の“海底ケーブル”の項については、電力ケーブル関係の方が土木の観点からは関係が深いところから、古河電工 村田浩氏の意見をきき、電源開発(株)工務室補佐峰村忽三氏を電力ケーブルについての執筆または紹介を依頼する様、産業調査会 野口氏に 電話連絡。
  - ・ 海底ケーブル委員会 ケーブル船小委員会(第 12 回)を開催、(14:00~16:30)。  
・ ケーブルデポ、及び ケーブル船について討議。
  - ・ 畠山、山本君から、SCARAB 再埋設の経費について説明を受ける。  
かなりの増額となるので、なお ATT と接衝するも、MOC に対しては、会議の事前に、協議方法を畠山一朴間で電話で相談すること、志村常務に来週状況を説明きでよう資料を整理すること、を指示。  
又、ATT とは、スジを通して再度配分を協議することとする。
- 9 日  
(水)
- ・ 海底ケーブル保護協力依頼に、山陰地方へ出張。(12/9~12/12)同行、2 課山本補佐。  
羽田発、9:55。  
福岡着、11:30。  
遠洋旋網漁業協同組合事ム所を訪問。  
小原 総務課長 に面会、あいさつ。
  - ・ 新幹線で 下関へ、浜田中継所、磯貝所長と合流。
  - ・ 山口県漁連を訪問、本間会長にあいさつ。  
懇親。
- 10 日  
(木)
- ・ TAXI で門司市へ、海上保安庁、第 7 管区 保安本部、門司保安部 訪問。  
〃 長門市仙崎へ、海上保安部 訪問。  
長門市湯本温泉 泊。
- 11 日  
(金)
- ・ 浜田へ。  
浜田市漁協組合 松田会長に面談。
  - ・ 米子 泊。



- 12 日  
(土) ・ 帰着。(米子空港 9:40 発 11:35 羽田着)
- 14 日  
(月) ・ 志村常務 より。  
児島常務から、“郵政省より最近 KDD の東南ア・太平洋方面のケーブル計画に関する活動が以前ほど積極的でないように見受けられると云われたので、状況を説明してほしい(郵政に).”と要望された。ASEAN, ANZCAN, TPC-3 等に対する KDD の対応について資料をまとめてほしい。  
湯口、江幡、佐藤 君らと相談し、今週末までに素案を作るよう指示。  
・ 日中ケーブルの抜本策策定と、新形埋設機の開発推進状況の打合せ。(14:00～15:30)  
志村常務、織間部長、佐藤調査役。  
・ CBC の来年度幹事を引受けることとなったので、その実行について打合せ。  
Tel 竹中、太田君。協議—湯口、田代君。
- 15 日  
(火) ・ SCARAB による日韓ケーブルの再埋設工事に要した経費について、詳細を検討。(2 課 山本補佐)。  
志村常務に、状況を説明。  
ATT の配分案によれば、日韓ケーブルのへは計 3 億余円かかり 4,700 万円増加しているが、止むを得ないものとして、これで社内で決定し、ATT, MOC へも通知、MOC との会合に備えることとする。
- 16 日  
(水) ・ NTT の光ケーブル方式(陸上)の商用試験に当り、システムの公開案内があり、大手町電話局で見る。(9:40～10:40)  
研究所 鍛冶所長と、電気通信科学館に河合貞夫氏を訪問。  
・ 日通建(株)の創立 30 周年記念の宴に出席。(高輪プリンス)。  
春山 専務(東北大 20)、大友 常ム(元通研 東北大 通 26)、NEC 系 山本氏、岸上氏、杉崎氏。警視庁 加藤 通信局長らに会う。
- 17 日  
(木) ・ 昭和 57 年の CBC 幹事を KDD で担当することになったので、本社、支社、研究所の有志と協議。(12:00～13:00)  
・ 郵政省 電政局 松尾技術室長に Tel。  
22 日、PM 3:00 に訪問の約束。
- 18 日  
(金) ・ 幹部会議なし。  
・ 日中ケーブル関係。  
・ 上海出張の手続き、近畿ツーリスト。  
・ 資料の準備。  
・ 国際部 皆谷君より、ケーブル船利用の Memorandum と、第 2 経常費の支払いの件などで、韓国 MOC への説明に煩わされているとのこと。
- 19 日  
(土) ・ 出社。  
志村常務に、14 日(月)に話しのあった海底ケーブル関係の KDD の活動状況の資料を提出。その際、米国における最近の FCC を廻る太平洋の通信施設計画の動きについての情報を供給される。
- 21 日  
(月) ・ 役員・部長間 打合せ(9:00～11:00)  
・ FCC による 通信施設計画の策定動向を踏まえ、これへの対応を海底ケーブル委員会で検討するため、傘下の三つの小委員会の joint working party で study する件につき、猪股課長、湯口調査役と協議。  
・ 部忘年会。

- 22 日  
(火)
- ・横浜税関監視部長 ほかを訪問。松崎主任同行。(午前 10:30)
  - 早川運輸 中田参事の案内。
  - ケーブルデポの問題、海底ケーブル通信等の映画フィルムの貸与等を話題とし懇談。
  - ・ハワイ, ATT Mr. Meierdiercks より Tel. : 明年政府関係者が調査のため、二宮を訪問する。
  - ・午後、郵政省 電政局 松尾 技術室長 を訪問。(15:00~15:40)
  - 織間 海建部長, 猪股 課長 同行。
  - 日中ケーブル障害復旧対策の検討状況と、SPT との意見交換打合せの予定を説明。“あんこう網に対する補償”について、郵政大臣から韓国通信部長官あて協力依頼文書を出した経緯もあり、KDD と韓国漁協とのより密接な話し合いが要望される。しかし、中国側が、この問題をどう受けとめるかが問題との指摘に対しては了解する。
  - ・NASC, 忘年 懇親会 社長招宴。(センチュリ・ハイヤット, ひすい宮にて)
- 23 日  
(水)
- ・幹部会議(臨時)10:00~12:00
  - 長計 23 号案の審議。
  - ・日韓大陸棚開発に対する日中ケーブル保護協力要請、およびあんこう網漁具に対する補償の問題の打合せに、畠山課長ら、郵政へ。
  - ・SCARAB による日韓ケーブルの再埋設の経費について、ATT, MOC と協議のための、社内決定処理を進める。
- 24 日  
(木)
- ・古河電工 村田浩氏 来訪, (10:30~11:40)。
  - ・光海底ケーブルの開発、明年 6 月開催の ICC における光海底ケーブル session の話しなど。
  - ・富士通 室井氏より Tel, : 光海底ケーブル方式の実用実験時期、沖一本ケーブルの状況など。
  - ・富士通 奥村, 風間, 池田, 小野の各氏, 組織変更に伴うあいさつ。
  - 海底伝送事業部の新設など。
- 25 日  
(金)
- ・ケーブルデポの用地に関し、郵政省電政局監理課 柴田補佐から説明を求められたとのことで、畠山課長と訪問 説明(14:40~16:00)
  - ・自民党山下代議士(佐賀県)より、去る 7 月にケーブルデポの問合せがあり、KDD に聞いて答えておいたが、その後の検討状況と見通しについて最近再度質問がでているので、それに対応したい。
- とのことで、現状は、なお検討中 と説明。
- 26 日  
(土)
- ・上記の件、志村常務に報告。
  - その後、郵政より、回答について、数次にわたり畠山課長と協議が電話で行われ、KDD としての最終案をまとめる。
- 28 日  
(月)
- ・日中ケーブル障害対策に関する SPT との打合せの資料について佐藤(正紀)調査役と打合せ。
  - ・SCARAB の経費、日中ケーブル保護のためのアンコ網漁具補償に関する郵政省との打合について、副社長へ報告。
  - ・SCARAB による再埋設工事の報告(KDD→MOC)の英文の検討。
  - ・“海洋土木事典”の海底ケーブルに関する項の構成について猪股課長と協議。
  - ・OCC 斎脇氏 来訪。
- 29 日  
(火)
- ・SPT との打合せの 対応について、織間部長, 佐藤役, 水野君と打合せ。
  - ・年末あいさつ, 副社長, 志村常務, 大島, 木村 両氏へ。
- 昭和 56 年の,  
仕事納。

1982 年（昭和 57 年）

1 月

- 4 日  
(月)
- ・ 仕事始め.
  - ・ 関連会社役員に対する会長，社長主催の新年祝賀会.
  - ・ 海技部 若手との新年懇親.
- 5 日  
(火)
- ・ JTEC 主催 新年祝賀会(東京ヒルトン)11:30～13:00.
  - NTT，業界，関連法人等から多数出席.
  - (今野，佐渡，斎藤二郎など同窓生にも会う).
  - ・ 帰路，赤坂山王ビル まき網漁協に寄り，宮本，尾崎両氏に年賀. (両氏とも不在)
  - ・ 志村常務より.  
来る 1 月 18 日～20 日，ハワイで開かれる Pacific Telecomm. Confr. に出席する MPT 電政局 西次長から，太平洋方面のケーブル計画の推移，現状，動向等の資料提供を依頼された.
  - また，郵政省から，KDD における将来のケーブル計画の展望をきかせてほしいとの話もあるので，これらの資料を準備したい.
  - ・ 湯口，矢口 両君に これら資料の作成を頼む.
- 6 日  
(水)
- ・ 日中ケーブル障害復旧対策に関する SPT との会合の準備.
- 7 日  
(木)
- ・ 同上.
- 8 日  
(金)
- ・ 太平洋方面のケーブル計画の推移に関する資料について，打合せ.
  - 志村常ム，矢口，湯口君. (14:00～15:30)
  - ・ 志村常務 担当の技計，海底線 両部，の管理者(副参事以上)に対する常務招宴，について，1 課長に arrange を頼む.
  - ・ NEC 鈴木(欽)氏，シンガポールメダンケーブルの応札について相談に来訪.
- 9 日  
(土)
- ・ 宮副社長に，日中ケーブル復旧に関する SPT との会合の対処について説明.
- 11 日  
(月)
- ・ 役員・部長 打合せ(9:00～11:00).
  - ・ 部内打合せ，(14:00～ ).
    - ・ 日中ケーブル，沖一本.
    - ・ TPC-3，光ケーブル方式開発，船・デボ等 関連計画の取りまとめと実施の推進.
    - ・ 社内の協議決定の道のつけ方.
  - など.
  - ・ 人事部 林次長より，副参事クラス人事についての相談.
  - ・ 国際技術懇談会メンバーと関係部室長との懇親会，(17:30～ ).
- 12 日(火)～16 日(土)
- ・ 日中ケーブル復旧に関する SPT との意見交換会合に出席のため.
  - 上海 出張.
- 18 日  
(月)
- ・ 上海での SPT との会合の様子を，志村常務，副社長，社長に報告.
  - ・ TPC-3 に光海底ケーブルを適用するための問題 等について，討議. (14:00～16:00)
  - 志村常務，湯口，矢口.

- 19 日  
(火) ・ KCS 接続要員の増員について、KCS 関部長より資料送付さる。  
・ 部内打合せにて、SPT との打合会合の様様を説明。  
・ NEC 田畑氏、FJT 奥村氏に、光海底中継器の生産への見通しについて意見を伺いたい旨、Tel. 連絡。来週、来訪を受けることとする。  
・ 志村常務より、社長から ① 日中ケーブルの早急復旧を計るための資金等の問題の早急な検討、② TPC-3 計画についての検討を促進すること、について指示があったとのこと。
- 20 日  
(水) ・ NTT 高橋敏郎氏夫人死去、告別式(本願寺和田堀霊廟)に参列。(14:00～ )  
・ 研究所 新納室長と昼食。  
・ 郵政省 松尾技術室長に Tel. 日中ケーブル復旧、上海会合の報告のアポイントメント、(1月22日、14:00～ )。  
・ 斎藤二郎君 来訪。(15:00～ )  
・ 志村常務 担当、技計、海技、海建、各部 副参事 以上の常務招宴。(新宿会館)
- 21 日  
(木) ・ 日中ケーブル復旧の対策に関する上海会合の様様をまとめる。  
・ NASC 取締役会(11:00～ )。  
・ 参院通信委員長の 二宮中継所 訪問 視察の資料について、総務部 大矢調査役より相談あり。  
・ 元通研 斎藤収三氏より、子息の KDD 入社希望について TEL あり、早稲田政経在学中、1月28日午後 15:30 より訪問を受けることとする。
- 22 日  
(金) ・ 幹部会(10:00～12:00)  
・ 事ム簡素化分科会報告など。  
・ 郵政省 電政局 技術室長 松尾氏に、日中ケーブル復旧に関する SPT との意見交換会合の様様を報告、(14:00～15:00) 織間部長 同行。
- 23 日  
(土) ・ 出社。  
・ CBC、新年パーティ、新宿会館、本年度は KDD が幹事を引受ける。
- 25 日  
(月) ・ 役員・部長 打合せ(9:00～9:45)。  
本年より、第2、第4月曜 9:00 より定例的に開く、こととなる。  
・ NEC 田畑氏来訪(14:00～15:30)  
光海底中継器に関し、問題点、生産体制確立までのプログラム、予想される生産能力、などについて情報を得る。  
・ 「日中ケーブル復旧に関する SPT との意見交換の概要報告ならびに郵政省への報告」について、連絡カードにより、志村常務、副社長に報告。  
・ 人事異動内命。(発令 1月29日。)  
高橋次長→建設部 次長へ。  
猪股課長→技計部 調査役へ。  
湯口調査役→海底線技術部 1 課長へ。
- 26 日  
(火) ・ 富士通 奥村氏、小野氏 ほか 来訪。(9:30～11:00)  
光海底中継器に関し、問題点とその解明状況、生産体制確立までのプログラム、予想生産能力などについて情報を得る。  
・ 社長に、「日中ケーブル復旧に関する SPT との意見交換」の概要を報告し、併せて郵政省へも報告したことを、報告。  
・ 日経新聞 松本記者より Tel. にて、日中ケーブルの修復関連の技術事項について問い合わせあり。  
1. 障害頻発時期(55年)と抜本策の検討開始時期の確認。  
2. 埋設深度の増大による工事費の増加の可能性: スピードを余り落さずにすむような技術開発を進めている、と説明

- 3. 新形埋設機の開発の見直し：モデル実験を経て、見通しを得ている。
  - 4. 回線は、衛星のみで疎通し、ホンコン経由のケーブル等は用いていない。
  - ・日中ケーブル臨時障害対策協議会への対応について、2課長らと協議。
  - ・国際部長と、OLUHOの次回調整委(12回)会合への出席者について協議。
- 27日 (水)
- ・OCC 斎脇氏 来訪、(10:30～11:30)。
  - 1. A1 ケーブル撤去について、郵政省より、処分の仕方、経費の問い合わせがあった。
  - 2. 日中ケーブル、沖一本ケーブルの模様。  
2重外装で、5mm/7mm(5mm中張力鋼、7mm軟鉄線)のものがある、とのこと。その寸法構造、破断張力、重量、価額等について情報提供を依頼。
  - ・猪股課長、相模湾 A1 ケーブル撤去について、郵政省 総務部にて意向をきく、経費約 3,400 万円、その予算がないので、何れ KDD に相談したい、とのこと。
  - ・昭 57 年度、事業計画の海底ケーブルの項について説明。
- 28日 (木)
- ・NTT 宮内一洋氏、(研究開発本部、副本部長)就任のあいさつ、に来訪。(9:15～ )
  - ・OLUHO 調整委 第 12 回会合(フィリピン)、技小委、への出席者について、国際部長より問い合わせ。
  - 北村 海洋課長、山本 2 課補佐 技小委へ、の案とする。
  - ・斎藤収三教授 子息(謙二郎氏) 来訪。(15:30～16:10)
  - 早大政経学部在学中、KDD への入社試験を考慮中とのことで、会社の業務概要を説明。
  - ・研究所 新納君来訪、光海底中継の NEC、FJT における製造に対する今後の見通しについて意見を交す。
  - ・ITT World Com. Chairman Mr. Knapp の来日に伴う KDD 関係者の招宴に出席。
- 29日 (金)
- ・人事異動 発令。
  - 高橋次長、建設部次長へ。猪股 1 課長、技計部調査役に。
  - 海技部次長に山村研究所次長 発令。
  - 1 課長に、湯口調査役が命ぜられる。
  - ・NASC 臨時株主総会 14:00～。葉氏の後任として、阿部氏取締役役に就任。
  - 引続き 取締役会にて、社長に代る取締役の順位を決裁。
- 30日 (土)
- ・酒匂会、ゴルフコンペ。箱根カントリーにて。
- 2 月**
- 1日 (月)
- ・志村常務により沖一本ケーブルについて、go がかかったら即応できるようにとのこと。
  - 総計、技計、海技・各部長間で、明日 協議することとする。
  - ・OCC 斎脇氏 来訪。5φ 7φ 2 重外装ケーブルの資料持参。
  - ・日中ケーブル復旧のための、臨時障害対策協議会(第 4 回)会合を主催、(14:00～16:30。)
  - 上海における SPT との意見交換の模様の報告と、今後の問題への取組みについての討議。
- 2日 (火)
- ・沖一本ケーブル建設計画の推進方法についての打合せ。(14:00～15:30)
  - ・総計、技計の各部長と打合せ。  
方式として CS-12M を採ることによりかどうかの議論。  
総計部の検討資料を各部で検討し、その結果により以降の社内処理(常務会までのステップ)を考えることとなる。
  - ・商船三井 主催の懇親会(KDD、KCS の関係者)虎ノ門、商船三井ビル
- 3日 (水)
- ・SCARAB による再埋設工事の費用、その他について、韓国 KTA と打合せのため訪韓の畠山課長と、提出資料、打合方針等について協議。
  - ・ケーブルデポに関し、横浜市港湾局からの情報とそれに関する港湾局との打合せ状況につ

いて、畠山、山本 両君から報告をきく。(日本鋼管跡地と、横浜新港の計画など)

- 4 日  
(木)
- ・ KEC 図書の英訳原稿について、京極君と打合せ。
- 5 日  
(金)
- ・ NEC 細川専務、田畑氏 来訪。光海底中継の開発についての NEC の計画を志村常務に報告、説明のため。同席し、質疑、(9:30~10:30)。
  - ・ 山本修三君に、山口衛星通信所へ異動の内命。
  - ・ 研究所 新納室長、光ケーブル海洋実験を、漁協の希望を入れ、3月から5月に延期する旨の連絡のため 来訪。
- 6 日  
(土)
- ・ ITU. 国際周波数登録委員会委員 藤木栄氏 夫人の告別式に参列。(世田谷、奥沢教会、14:00~ )
- 8 日  
(月)
- ・ 役員、部長間 定例打合、9:00~11:30。
  - ・ KCS より、タイマレーシアーシンガポールケーブル布設計画に KDD 丸を使用するに当たっての条件について、富士通との契約の際、如何にするかを打合せたいとのこと。(2月15日予定)。
- 9 日  
(火)
- ・ 海技部、部内 打合せ。
    - ・ 新陣容後の 業務分担の確認。
    - ・ 沖一本ケーブル、TPC-3、デボ等の進行状況。
- 10 日  
(水)
- ・ 9 日朝発生の日航機羽田事故にて、日本遠洋旋網漁協の役員 2 人が死去していることが、判り、志村常務と小生名の香典をもって、弔問。(羽田空港さくらラウンジにて、金子会長、宮本、尾崎氏らに会い弔意を表す。遺族にも弔意、松崎君、同行。一遭難者、日本遠洋旋網漁協、副組合長 神徳氏、同専務理事宮田氏、)ー14:00 時、KDD ビルに戻る。
  - ・ 昭和 57 年度「設備計画案の概要」に関する労組意見書に対する会社見解についての 役員打合せ(15:00~、日中ケーブルの関係のみ 出席。16:00~)
  - ・ ケーブルデボ計画の今後の進め方について、部内関係者打合せ。
  - ・ 湯口 1 課長と、沖一本ケーブル、TPC-3、相模湾のアルミケーブル撤去、等の諸問題について意見交換。
- 11 日  
(木)
- ・ 祝日。
- 12 日  
(金)
- ・ 幹部会議 なし。
  - ・ 人事異動発令。(5 級以下、)
    - 山本修三君、山口衛星通信所へ、浅見春雄君、茨城衛星通信所より当部へ。
  - ・ 昭和 57、設備計画に対する労組意見書への会社の見解の説明。(13:30~15:15)。
  - 関係役員、(志村、高仲、赤井)、関係部長 出席。労組 依田委員長 以下。
  - ・ OCC 広島顧問 来訪、KDD 丸の他作業 従事時の問題について、話す。
- 15 日  
(月)
- ・ 畠山課長、韓国 KTA との打合せを終え、ソウルより帰り、その模様を報告。
    - ・ SCARAB による再埋設工事の経費。
    - ・ 日韓ケーブル R-24 の故障 原因。
    - ・ KDD 丸 第 2 経常費の説明。
  - ・ KCS/KDD 間の関係部長間 打合せ、(14:00~15:30)
    - KDD 国際 里見、経理 高橋、亀田。
    - KCS : 関、小林、秋元。
  - ・ ASEAN 三国ケーブルの布埋設に KDD 丸を使用する際の問題について。



1. 目的外使用：保守ケーブルの修理のため、中断するかどうか。
  2. 使用期間：保守用ケーブル等の積下ろし、積込みを除くかどうか。
- 協議の結果、前の東西マレーシアの時と同じにすることが望ましいが、中断したとき発生する費用のことを、考えないわけには行かないので、KDD で関係役員・部長間で協議し、方向を出すこととする。
- ・上記の件に関し、志村常務に報告説明し、了解を得る。  
また、経理部長からも、担当役員の了解を得たとの連絡あり。
- 16 日 (火)
- ・ASEAN 三国ケーブルへの KDD 丸の使用条件の件。  
△高橋経理部長、小林(見)KCS 部長へ電話し、志村常務の意向を説明。  
△次長、2 課長にも状況を説明。
  - ・ケーブルデポの候補地選定のための社内検討処理手順について 次長、2 課長らと打合せ。  
ケーブル船小委を経て、事案決定処理により、横浜市港湾局への依頼文書を出す。  
(志村常務 名)：3 月末までに処理を要す。
- 17 日 (水)
- ・富士通 小山工場へ 出張。  
研究所の海洋実験用試作、光海底ケーブル中継器の視察。  
富士通側 新川顧問、川島氏、奥村氏ら 応待。  
KDD 側、中込氏始め、本社、研究所より 10 名参加
- 18 日 (木)
- ・ASEAN 三国ケーブルへの KDD 丸使用に関する問題について、KCS へ示すための KDD 社内了解をとるべく、連絡カード用案文を作成し、経理部長、国際部長の了解を得る。
  - ・塚本氏より Tel. 中国との技術フォーラム用、光ケーブル方式の翻訳について KEC より照会があったので、KEC へのすいせん方を依頼したいとのこと。  
KEC 稲見技術部長に Tel. 連絡し、以前の日中ケーブル関係での通訳としての技倆及び依頼費等を伝える。
- 19 日 (金)
- ・幹部会議(10:00～11:30)
  - ・OLUHO ケーブルの調整委、技小委への資料、対処方針について  
湯口、北村、山本(照)君らと打合せ。(13:45～15:00)
  - ・ケーブルデポに関するケーブル船小委員会資料について、部内 関係者と討議。
  - ・CBC、定例(月例)会合に参加。
- 20 日 (土)
- ・出社。
  - ・志村常務より、TPC-3、関係を RART I とし、ケーブル船、デポを PART II として、2 回にわたり、役員連絡会へ出したいとの話。  
資料について検討のこととする。
  - ・江幡君と、ケーブルデポの資料(船小委用)について検討。
- 22 日 (月)
- ・役員・部長打合せ。9:00～11:00)
  - ・ケーブル船小委に出す ケーブルデポ資料の検討。(2 課畠山課長など)
- 23 日 (火)
- ・新宿 副都心クリニック にて コレラの予防注射(2 回目)をすませる。
  - ・富士通 奥村、小野両氏 来訪。(14:00～14:45)  
OLU ケーブル布設替工事の際の Rep. 障害(電圧低下)の原因、及び日韓ケーブルの R-24 障害(サージによる)についての措置を協議。
  - ・OCC 斎脇氏 来訪。(15:30～16:00)  
カプリングの調査等について。
  - ・NEC 清水氏(営業) 来訪。  
光海底中継器の開発体制を NEC で新たにすることとなったとの報告。

- 24 日 ・ OLUHO 調査委員会技小委への資料について 打合せ。  
(水) ・ ケーブル船 小委員会(第 13 回)開催(14:00～16:30)  
ケーブル保守基地について 審議。
- 25 日 ・ NASC 取締役会(第 28 回) 11:00～  
(木) 昭和 57 年度 事業計画について、審議。  
・ OLUHO 技小委関係資料の検討
- 26 日 ・ 幹部会(10:00～11:00).  
(金) ・ KCS 関 総務部長に、M-S-T ケーブルへの KDD 丸使用に関する問題に対する KDD の考え方を  
説明。  
・ OLUHO 技小委への資料について、北村、山本君 らと協議。

### 3 月

- 1 日 ・ 海技部内打合せ、(10:00～11:30).  
(月) ・ 幹部会議の様様。  
・ 当面の主要業務。  
・ 役員連絡会に上げる、海底ケーブル関係の基本構想(PART I : TPC-3, PART II : ケーブル  
船、デポなど)の資料作成について、志村常務と打合せ。(山村次長、湯口課長 同席)
- 2 日 ・ OLUHO 調整委員会 第 12 回会合、技小委、第 12 回会合に出席のため、フィリピン(マニラ、  
(火) バギオ、クリマオ)に出張。
- 3 日 ・ マニラよりバギオに移動。  
(水)
- 4 日(木)～5 日(金)  
・ 技術小委、12 回会合。  
議長を務める。
- 6 日 ・ クリマオ ケーブル局 訪問。  
(土)
- 7 日 ・ バギオへ戻る。調整委員会へのレポートを作成。  
(日)
- 8 日 ・ 調整委員会 会合、技小委の討議状況をレポート。  
(月)
- 9 日 ・ バギオよりマニラへ移動。  
(火)
- 10 日 ・ 東京へ帰着。  
(水)
- 11 日 ・ 志村常務にフィリピン出張の報告。  
(木) ・ NASC 古橋社長に 帰社の報告。  
沖一本ケーブルに関する郵政省裁定に関し、この件を台湾へ伝える方法について、阿部取  
締と協議するよう、指示あり。
- 12 日 ・ 幹部会議(10:00～ )、途中で山村次長と交替。



- (金) ・ JASC, 及び日韓ケーブルの 「MARCAS」 による inspection について, 組合説明.  
(11:20~11:40).  
・ 浅見君, 矢口君と会食, 懇談.  
・ 海技部内 打合(14:30~16:00).  
・ 15 日からの日韓ケーブル保守専門家会議の準備.
- 13 日 ・ 出社.  
(土) ・ 理髪.  
・ OLUHO 資料の整理.  
・ 午後, CBC, カルバートソン杯.
- 15 日 ・ 日韓ケーブル保守専門家会議.  
(月) 昨年実施の, SCARAB による再埋設工事の経費, KDD 丸の back up charge など.  
KTA より 3 名来日.  
・ 夜, KTA 職員の志村常務招宴.
- 16 日(火)~17 日(水)  
・ 同上会合.
- 18 日 ・ KTA 職員 二宮中継所, 見学 畠山課長 案内.  
(木) ・ ケーブルデポ関係の関係役員懇談会(3 月 24 日)資料 打合せ.  
・ 富士通 奥村氏, 小野氏と懇談.
- 19 日 ・ 日韓ケーブル保守専門家会議.  
(金) ・ ミニッツ作成, 確認. 夜, 23:30 終了.
- 20 日 ・ 志村常務と諸問題, 打合せ.  
(土) 1. 日韓・保守専門家会議の報告.  
2. 沖一本ケーブルの推進: 海底ケーブル委, 事ム局で検討.  
3. TPC-3, 等の役員連絡会: リハーサルと, 意見交換.  
4. 日中ケーブル: 埋設機の開発.  
・ 午後, 家族で, 日生劇場でミュージカル, 観劇.
- 21 日 ・ 山村, 佐藤, 畠山君らと ゴルフ, (寄居 CC).  
(日) 春分の日.
- 22 日 ・ 振替休日.  
(月)
- 23 日 ・ 湯口課長と, 沖一本ケーブルの建設推進に関する海底ケーブル委員会の開催について, 又,  
(火) TPC-3 関係の役員連絡会のリハーサルについて, arrange の協議.
- 24 日 ・ 海底ケーブル保守基地(ケーブルデポ)についての関係役員懇談会. 14:00~15:45  
(水) 大方について, 了承される.  
・ 夜, 畠山課長と 懇談.
- 25 日 ・ 横浜市 港湾局 港務部長 中新井氏 を 訪問し, (MO 横浜支店長 前田氏同行), ケーブルデ  
(木) ポ用地についての配慮方要請の文書(KDD 志村常務より, 港湾局長 あて)を手交, 協力に  
ついて横浜市側から回答を得ることとする.  
・ 横浜にて, 前田氏, 吉田船長, 畠山課長 らと 懇談.

- 26 日  
(金) ・星歯科医にて、前歯の欠損を治療：幹部会 欠席。  
・海底ケーブル委員会の開催等について、総計、技計部と幹事会。(15:00～16:00)  
・沖一本ケーブルの建設推進について、4月7日、午前に開く。  
・その他、TPC-3 計画等の役員連絡会での照会が変更され、関係役員懇談会で扱うことについて、意見交換。
- 29 日  
(月) ・役員・部長 打合せ。(9:00～11:00)  
・引続き、“TPC-3 計画の動向”等に関する社内打合せの方法について、打合せ、(11:00～12:30)。  
4月7日、開催予定の海底ケーブル委員会において、沖一本ケーブルの建設推進に関する審議に加え、TPC の動向とそれへの対応について討議することとなる。
- 30 日  
(火) ・日中ケーブルの復旧に関する KDD/SPT 間打合せについて、会合を5月の連休明けに開くことで、中国側も同意を示したので、その準備を進める、こととする。  
・江幡君より、ケーブル船の技術調査の報告をきく、(山村次長、山本 2 課補佐)。  
“事前検討”に関し、作業を進めるよう指示。  
・星歯科医院にて、再度の前歯の欠損の治療。
- 31 日  
(水) ・志村常務、山村次長、小山へ、新形埋設機 2/5 モデルの最終実験を視察に行く。  
・部内関係者と、沖一本ケーブルの建設推進について打合せ。  
・星歯科、X 線による検査結果をきく。

昭和 56 年度、終了。

## 昭和 57 年度

### 4 月

- 1 日  
(木) ・ 第 29 回 会社創業記念日.  
帝国ホテルにて式典, 祝賀パーティ, 11:00~14:00.  
・ TPC-3 計画の見直し, 光海底ケーブル開発推進の必要性と対応についての, 海底ケーブル委員会資料作成の打合せ.(湯口課長と.)
- 2 日  
(金) ・ 休暇.  
吉田船長, 石川室長, 服部課長とゴルフ, (ごてんば).
- 3 日  
(土) ・ 出社.  
海底ケーブル委員会 資料(太平洋ケーブル計画の動向とそれへの対応)を作成.
- 5 日  
(月) ・ NEC 細川専務, 西条常務, 田畑氏ら, 来訪, (10:00~11:00)  
志村常務他と, 沖一本ケーブル, 光海底ケーブル開発等につき懇談.  
とくに, 光海底中継器の開発のための NEC の体制, 及び開発計画について説明あり.  
・ 20 年勤続, 40 年勤続 他の事業所長表彰が, 京王プラザホテルで行われ, 参列.  
(11:30~14:00).  
・ OCC 斎脇氏 来訪.  
・ NTT における海底ケーブル建設時の調達方法, 等化処理方法の情報を受ける.
- 6 日  
(火) ・ 大阪商船三井船舶 前田氏(横浜支店長), 観世氏 来訪.  
ケーブルデポに関する調査 及び, 工事, 建設後の運用(荷扱い)等について.  
・ KCS 白井工事課長の母堂の告別式(調布, 自宅にて), 弔問, 14:00~.
- 7 日  
(水) ・ 海底ケーブル委員会 第 9 回会合 10:00~12:00.  
・ 沖一本ケーブルの建設推進.  
・ 太平洋域のケーブル計画の動向と, それへの対処.  
について, 資料を提出, 審議.  
・ 相模湾の実験用アルミケーブルシステムの撤去について郵政省と協議した結果と今後の措置について, 社長に報告.(連絡カードにより説明).  
・ 成城尋常科, 同級のクラス会.(市ヶ谷会館.)
- 8 日  
(木) ・ シンガポール TAS 総裁 Go Sen Kim, 及び, Mr. Sung Sio Ma, Dr. Chia Choo Wei 来訪.  
国際部長 主催で, 総計部長らと, 会合に出席, 意見交換, (10:00~12:00).  
・ 午後:社長 ほか 会社首脳部への表敬の席に列席.(14:30~ ).
- 9 日  
(金) ・ 幹部会議, 10:00~12:00.  
・ 2 課長と, MARCAS による JASC, 日韓ケーブルの調査計画, 日中ケーブルの意見交換会合の準備状況など打合せ.  
・ OLU の布設替え工事の関係者の慰労.
- 10 日  
(土) ・ 出社.
- 12 日  
(月) ・ 役員・部長打合せ. 9:00~10:30 (月)  
・ 常務より, 5 月 17 日(月)に, 日高会長を KDD 丸及び辰巳倉庫(ケーブル保管庫)に案内する件について, KCS と arrange の協議方の話しあり.
- 13 日  
(月) ・ 春闘, 朝 妥結.

- (火) ・終日、KEC 図書「国際海底ケーブル通信」英文原稿の check.  
 ・畠山課長より、① MARCAS による JASC 調査の件。  
     ② M-S-T ケーブルに従事する KDD 丸の使用契約(KCS/Fujitsu 間)の KCS 案。  
     ③ 大阪支社に保全業務が移管したことに伴う、非常通信障害対策の改訂までの措置。  
 等について報告。
- 14 日 (水) ◎研究所、計測研、石原室長、岩本主任研究員 来訪。  
 MARCAS について、意見 交換。  
 ◎GNTC. Mr. Larsen と、MARCAS による JASC の inspection の打合せ。(14:00～15:00)  
 ・夜、Mr. Larsen と会食、(セリナ)
- 15 日 (木) ・KEC 図書、英文原稿の Check。  
 ・SPT との打合会合(5 月 10 日～14 日)への対応について検討。  
 ・WUI 招宴。(ホテルオークラ)
- 16 日 (金) ・郵政省 電政局 松尾技術室長に Tel。  
 SPT との打合会合が予定され、準備を進めている。来週後半に説明に行く旨、伝える。  
 ・幹部会議。(10:00～12:30)  
 ・日中ケーブル復旧に対する SPT との打合せの対応について、次長以下と部内で協議。  
 ◎広報室の要請により。  
 東京新聞 杉山記者に、日中ケーブルの復旧についての取材に対応、：主として、埋設深度増大の技術開発、復旧対策に関するケーススタディ、SPT との会合の性格。  
 経費と効果、アンコウ網漁協への働きかけ(協力要請)等。広報室長、同席。
- 17 日 (土) ・出社。  
 常務に、東京新聞記者への対応について報告。
- 19 日 (月) ◎新形埋設機の開発の状況と見直し、問題点、進めるための社内手続き処理について、志村常務、織間部長と協議、(10:00～11:20)。  
 ① SPT との意見交換会合で、SPT の意向を把握しつつ、開発を進める。  
 ② 6 月に行なう、アンカ貫入度、底質調査の結果を入れて、実機大の試作設計を進める。  
     また、KDD 丸の補強について検討する。  
 ③ 実機大の試作、KDD 丸の補強等の実施について、7 月中旬に常務会へ付議する。  
 ④ その結果を元に、SPT と特別会議を開き、復旧計画を確定する。  
 ◎新技術開発委員会、海底線部会(第 6 回)に出席。(14:00～19:30)  
 ・窪小谷さん(成城先輩)から Tel。現、東北工大、(0222-29-1151, EXT 759)
- 20 日 (火) ・日高会長の KDD 丸、ケーブル保管施設視察スケジュール案について、加藤秘書と打合せ、(10:00～12:20)。  
 ・斎藤収三氏(元通研、現東大医学部教授)子息、謙二郎君、来訪。  
 早大政経学部在学中で、明年 KDD に就職したいとのことで、49 年早大卒の国際部皆谷君を紹介。(11:00～12:10)。  
 ・KEC 図書、「国際海底ケーブル」の英語版 作成打合せ、(13:30～15:30)。  
 ・SPT との打合せ会合の資料作成、等について、経理部と打合せ、(15:30～16:40)。  
 ・NEC 田畑氏より Tel。  
 12M 中継器部品のうち、金メッキマイカの製造を中止し、シルバードマイカを最近は使っている件について。  
 ◎国際部長より、来る 5 月 24 日開催予定の、OTC(A)の呼びかけによる“インド洋ケーブル計画”に関する会合(Perth)への参加について相談あり。

- 21 日 (水) ・研究所、新納室長より、Tel. (10:00)  
近く東京で開かれるベル研との会合で、KDD から ATT へ照会中のケーブルカプリングの問題についても discuss したいと、BTL, Mr. Gleason から TLX で言ってきたとのこと、5 月 6 ～8 日にそのための時間を割いてほしい旨、希望。
- 22 日 (木) ・KEC 図書「国際海底ケーブル通信」英文版について、京極、高井 両君と打合せ。  
・東京新聞、夕刊に、日中ケーブル復旧対策の記事出る。
- 23 日 (金) ・幹部会議、山村次長に代理出席依頼。  
◎郵政省 電政局 松尾技術室長に、「SPT との打合会合」に関する説明、経理部 田中財務課長 同行、(14:00～14:40)。  
・東京新聞の記事(22 日夕刊)に関し、警視庁 外事部 薬丸刑事 来訪し、復旧への対策、中国との協議状況などを説明。(15:00～16:00)  
・社内、東北大 出身者 同窓会。
- 24 日 (土) 休み、寄居へ行く。
- 26 日 (月) ・役員・部長 打合せ。(9:00～10:30)。  
・荅北 高須所長へ Tel. (11:30～ )。  
新聞記事(西日本新聞)に関し、現在の状況等を話す。  
・佐藤、水野 両君と、SPT との会合の対処方針、資料等について打合せ。
- 27 日 (火) ・KEC へ 国際海底ケーブル通信、英語翻訳原稿の一部チェック済み返送。
- 28 日 (水) ・KDD 丸 吉田船長、来訪。(11:00～ )  
日韓ケーブル再埋設部分の MARCAS による検査結果について、意見をきく。
- 29 日 (木) 天皇誕生日、祝日。
- 30 日 (金) ・SPT との日中ケーブル復旧に関する第 2 回意見交換会合の対処方針について、水野、佐藤君と打合せ。  
・海技部内の異動昇進の上申について山村次長と協議。

## 5 月

- 1 日 (土) ・出社。  
・執務月報、作成。  
・理髪。
- 2 日, 3 日 休日。
- 4 日 (火) ◎MARCAS により行なった、日韓ケーブル再埋設部分、及び JASC 浅海部の inspection 結果について video による報告。(13:30～15:00)  
研究所 岩本君、白崎君 説明。  
・日韓ケーブル再埋設部の調査結果の検討方法、ケーブルデポの推渉状況と対応について、山村次長を通じ、2 課長へ指示。  
・沖一本ケーブルの実施設計(計画)、(業者選定、調達を含む)を常務会へ付議する件につき、湯口課長に指示。

- ・ OTC (A) 提案のインド洋方面の将来ケーブル計画に関する会合(豪州, Perth)へ, 海底線技術部から湯口課長を参加させる事案(国際部起案)の協議を了承.
- 6 日 (木)
  - ・ 日中ケーブル復旧に関する SPT との打合せ会合に出席の件につき, NASC 古橋社長に了解を得る.
  - ・ NEC 田畑氏より Tel.  
MEDAN-PENANG ケーブルの契約調印 (CS-5M 方式) が 5 月 3 日行われた.  
布設は, NTT の黒潮丸に頼む予定, 58 年 4~5 月頃.
  - ・ OCC 斎脇氏 来訪, (15:00~ ).  
カプリング調査について, ほか.
  - ・ BTL, Mr. Runge, Dr. Gleason, 光ケーブルの討議に来日.  
夜, 新宿会館で, Cocktail Party.
- 7 日 (金)
  - ・ 幹部会議.  
海技部について, トピックの報告.
  - ・ 日中ケーブル復旧についての話し合いに上海へ出張する件について, 副社長, 社長にあいさつ.
- 8 日 (土)
  - ◎BTL, Dr. Gleason と, Cable Coupling の問題について, discussion.
- 9 日(日)~14 日(金)
  - 日中ケーブル復旧に関する SPT との打合せ会合に出席のため, 上海 出張.
- 15 日 (土)
  - 出社, 資料 整理.
- 17 日 (月)
  - ・ SPT との会合の模様について, 志村常務に報告.
  - ・ 同上, 要点を, 建設部長 ほか 関係者に報告.
  - ・ 同上, 報告書の作成を進める.
  - ・ 1 課長, 2 課長より, 各業務の進捗, 問題等の報告を受ける.
  - ・ 総計部長より, 国際通信施設計画に関する MPT/KDD 連絡会議について, 話しあり.
- 18 日 (火)
  - ・ KEC 技術図書「国際海底ケーブル通信」英語版作成打合せ.
  - ◎SPT より依頼の, NTT 施設見学, 技術的討議を目的とする技術調査団の受け入れの件について, NTT 技術局 副島次長に Tel.
- 19 日 (水)
  - ・ NASC 取締役会 10:00~.  
5 期決算について.
  - ・ JASC/日韓ケーブルの MARCAS による検視のビデオを, 志村常務にみてもらい, 対策等につき 意見交換.
  - ・ 東京 保全部 徳江調査役を, 関東通信病院に見舞う.
- 20 日 (木)
  - ・ 特記事項なし.
  - ・ 昼, 湯口課長, 山村次長 と会食.
- 21 日 (金)
  - ・ 幹部会議.
  - ・ OCC 斎脇氏 来訪: 日中ケーブル復旧対策.  
沖一本ケーブル, coupling の件など.
  - ・ Mr. Handley (ETPI, マニラ)より Tel. ICPC の件.
  - ・ 星沢氏と会食, 石川, 柴田 両君とも.

- 24 日 ・役員、部長 打合せ、(9:00～9:45.)  
(月) ・ASEAN M-S-T ケーブルによる KDD 丸を使用する際の契約条件、使用料について富士通と話し合うための案が KCS より示され、とくに全額については、これを KCS の最終案としたい旨である、との件、経理部長より話しあり。
- 25 日 ・沖縄－台湾ケーブル保守会議の準備打合せ。  
(火) ・NTT 国際局 坂下 次長に Tel.  
中国 SPT より依頼の、技術調査団の派遣希望に対する、対応について。
- 26 日 ・定期 健康診断。  
(水)
- 27 日 ・郵政省 技術室長 松尾氏 を訪問。(9:30～10:30)  
(木) 日中ケーブル打合会合の報告。  
・臨時 幹部会議：決算報告書案。  
・新技術開発委。(14:20～17:00).  
・海洋土木辞典 原稿 作成 打合せ(18:30～22:00).  
NTT 側執筆者と、新宿会館にて。
- 28 日 ・OKI-TAI ケーブル保守会議準備打合せ。  
(金) NASC、社長以下。
- 29 日 ・休。東北大同窓 21, G.C. つくばね。  
(土)
- 30 日 ・沖台ケーブル保守会議に出席のため、来日の ITDC. T.C. Chiang 社長 以下 3 名を羽田空  
(日) 港に出迎え。
- 31 日 ・沖台ケーブル 第 2 回保守会議。  
(月) 会合の Chairman を勤める。

## 6 月

- 1 日 ・同上。  
(火) ・NASC 社長 招宴。
- 2 日 ・ITA/KDD 間の ケーブル計画に関する意見交換会合に出席。(9:30～12:00)  
(水) KDD 側、総計部 渡辺次長、国際部 里見部長。  
海技部、亀田、湯口課長。  
・OKI-TAI-LUZ. 3 ケーブルによる restoration の問題についての、笹本常務, Mr. T. C. Chiang 間の会談に 同席。
- 3 日 ・沖－台ケーブル保守会議 Minutes 確認。(10:00～11:30).  
(木) 会議終了。  
・郵政省主催、“国際通信施設に関する連絡会議” に出席。(13:30～15:40)  
・OCC との懇談。(宮川社長 以下, KDD 志村常務 以下)
- 4 日 ・幹部会議。  
(金) ・CW(HK), Mr. Forestal より, Tel. (13:50～ )  
6 月 8 日(火)に KDD を訪問し, cable project(とくに, 将来の OKI-Hong Kong)について, 意見交換したいとのこと。

- ・志村常務と懇談。
- 7 日 (月) ・富士通 奥村氏, 小野氏, 来訪. 14:00～ .  
ASEAN M-S-T ケーブル建設進捗状況の説明。
- 8 日 (火) ・施設近代化計画の一環として, 労組に対し, 沖縄一本州間ケーブルの建設について説明,  
(10:00～10:15).  
・CW(HK). Mr. Forestal 来訪.  
Mr. Pemberton の名代として, 東南アジア等における海底ケーブル計画の新たな進展の動きに関連して, KDD とホンコンー日本間の新ケーブルに対する意見交換を求めてきたもの.  
総合計画部, 国際部が対応し, 当部からは, 山村次長が出席.  
シンガポールーホンコン間のケーブル計画があり, CW(HK)としては, それへの対応に当り, KDD の将来ケーブル計画の意向を知りたいとしている.  
・台湾 ITA 局長 他 に対する NASC 社長の招宴 に出席, (南園)。
- 9 日 (水) ・KEC 図書「国際海底ケーブル通信」英語版 作成 打合せ, (14:00～15:30), KEC 主催.  
・海洋土木事典の原稿 整理。
- 10 日 (木) ・日韓ケーブルの一部露出部の再埋設等の対策について,  
関係者間で, 討議. (13:30～17:00)  
・畠山課長と, 懇談, (みよし)。
- 11 日 (金) ・NASC 取締役会議. (10:00～ )  
・志村常務に, “海底ケーブル関連のトピック” を提出。
- 12 日 (土) ・佼成病院にて, 胃の X 線検査。
- 14 日 (月) ・役員, 部長 打合せ, 9:00～10:30。
- 15 日 (火) ・KEC 図書 英文原稿のチェック.  
・海洋土木事典の原稿のまとめ 一猪股・北村 両君と整理。
- 16 日 (水) ・NTT 国際局 松本氏 より Tel.  
中国 SPT 袁驊氏より, NTT 施設訪問の依頼文書が, 国際局長あてに来たことに対する問い合せ経緯を説明。
- 17 日 (木) ・海洋土木事典原稿のまとめ 一猪股・北村両君と検討.  
次週, 6 月 22 日に, 事ム局へ送付のこととする.  
・安藤電気 岡村相談役より Tel.
- 18 日 (金) ・佼成病院, 胃カメラ, 検査.  
幹部会議, 山村次長に 代理出席 依頼.  
・KEC 図書 英文原稿のチェック, 第IV編, 第3 章, 終了. KEC へ返送.  
・CBC 月例会. 新宿会館
- 19 日 (土) ・出社。
- 21 日 ・ケーブルデポについて. (畠山課長より. )



- (月) 日本鋼管跡地の調査計画を、横浜市港湾局に示し、その実施を進めることについて意向を質す、他に希望者もある模様で、港湾局長にあって頼む必要があらうとのこと。
- 22 日 (火) ・横浜市 港湾局長 小林氏を訪問。  
商船三井大阪 前田横浜支店長 同行。  
日本鋼管跡地を調査する件について、あいさつ。
- 23 日 (水) 休暇。
- 24 日 (木) ・KEC 図書英文原稿の check, 第IV編 第5章。
- 25 日 (金) ・幹部会議。  
・午後、佼成病院、検査結果の聴取。
- 26 日 (土) 寄居。
- 28 日 (月) ・JASC 保守会議, GNTC, ソ連, 代表との会食出席。  
・東京支社長 招宴。
- 29 日 (火) ・JASC 保守会議 出席, (午前 のみ)。  
・KDD 株主総会。  
・夜, JCBL, IMP リーグ, (岩井, 内野, 半田 氏)。
- 30 日 (水) ・NASC 株主総会 14:00～。  
取締役会  
・日韓ケーブル露出部 対策 打合せ: KCS 会議室, 14:00～17:00。  
研究所, 海技・建, KCS 関係者, 間。  
・NASC 懇親, (社長招宴。) 北京大飯店にて
- 7 月**
- 1 日 (木) ・“KDD・NTT 間の技術協力に関する協定” の NTT 案に対する検討 打合。技計, 研究所, 海技。  
・KDD・関連会社, 役員 懇進, 新宿会館, 17:30～。
- 2 日 (金) ・人事部 林次長より, NASC 施設課長の人事について, 協議あり。
- 3 日 (土) 休み: CBC, サマーパーティ, 伊東。
- 5 日 (月) ・第1回, 役員(笹本常務)・部長(技計, 海技建, 建築)連絡打合せ, 14:00～15:00。  
・交換職員の SPT 代表団の一員として, 来日中の高銀氏を昼食に招く, 水野君 同席。  
・元 喜安研 吉田俊雄氏(現在, ダン科学)より, 子息(明大 法学部在学中)の KDD 就職希望について相談あり。  
・元 NTT 技師長 山内正彌氏, NEC 専務へ就任のあいさつに来訪。
- 6 日 (火) ・沖本ケーブルの機材調達に関し, 常務会へ付議する件について  
山村次長, 湯口課長, 矢口補佐と協議。

- 7 日  
(水) ・人事部 林 次長より、石井シンガポール事ム所長の異動の是非について照会あり、これに対し、① 人事の停滞を防ぐ、② M-S-T は FJT の仕事である、③ 8 月に発令でも、実際に交替するには、月日を要するので、直ぐに当人がいなくなるわけではない、これから、後任者にもよるが、とくにこれを留める必要はない旨の意見を述べておく。
- 8 日  
(木) ・海底ケーブル委員会を廃止し、代りに“海底ケーブル計画推進連絡協議会”を設置したいとの意向が、総計部より出され、渡辺 同部次長 と討議。  
社内の検討を円滑に、効率よく行うことに異論はないが、委員会でそれができないことはない(他委員会で実務を進めている例もある)のではないかと述べる。  
・笹本常務に、日中ケーブル復旧対策の検討状況を説明。  
・FJT. 室井氏より、M-S-T ケーブル布設時の漁業補償対策の参考にするため KDD での実施例を知りたいとの Tel. 山本 2 課補佐を通じ情報を与えることとする。
- 9 日  
(金) ・幹部会議、(10:00~12:00)。
- 12 日  
(月) ・海 技部 部内打合せ、(9:30~11:30)。  
・国際通信施設計画に関する連絡会議(第 2 回)  
郵政省にて。(14:00~15:00)。
- 13 日  
(火) ・日中ケーブル復旧対策の社内協議の進め方について、次長、2 課長と協議。  
・笹本常務に、TPC-3 計画関連の Telecom Jour. 資料 提供  
・志村元常務に対する、海底線 関係者の 謝恩会 (新宿会館)。
- 14 日  
(水) ・臨障協の会長に、石井副社長をあてる件につき、対外的にそれが妥当との意向を笹本常務が増田社長から得て、副社長に了解を得ることとなる。  
・ケーブルデポ用地について、児島常務より、(織間部長 経由)。  
自民党通信部会長 山下徳夫代議士から、ケーブルデポ用地について聞かれたので、“横浜に決ったような”話を、社長ともどもしたとのこと。郵政省 監理課 からの話のあった経緯(56.12月)を説明する。
- 15 日  
(木) ・石井副社長に、臨障協について説明、会長就任の了承を得る。  
・KEC. “国際海底ケーブル通信” 英語版 作成 打合せ。(KEC 主催)14:00~16:00。
- 16 日  
(金) ・幹部 会議。  
・笹本常務より。  
郵政省 守住次官が就任あいさつに見え、常務以上で会談したが、日中ケーブルについて、  
① 建設当時は 4 人組の時代で、沖縄陸揚げを拒否されたが、現在は考えが変わっている。  
② 北京と上海間は(郵電部/SPT 間は)、必ずしも、じっくりしていない。日中ケーブル復旧について、北京は上海に、コメントしている。  
③ 資金的には、国庫納付が少なくてよいようになった(40%→20%)ため、復旧費の心配はなくなった。  
(以上、何れも、すでに当方では了知済み。)
- 17 日  
(土) ・出社。  
・午後、銀座 詩季画廊にて、中野朝安君の個展を見る。
- 19 日  
(月) ・人事の問題で、笹本常務、山村、高橋次長らと協議。  
シンガポール事ム所長の異動に関連して。

- 20 日  
(火) ・人事部 林次長より.  
NASC 施設課長の人事：9 月 30 日に実施するとのこと，了承.  
・日中ケーブル海域での，アンコウ網錨貫入度の調査実験について報告打合せ.  
(13:30～16:30)海技部，海建部，関係者.  
・ASEAN M-S-T ケーブルの布設工事実施に当たっての，富士通 主催，KCS，KDD 関係者 懇親.  
(ホテル，サンルート)
- 21 日  
(水) ・人事部 林次長より.  
シンガポール事務所長の異動人事について，江幡調査役の個人的事情の有無確認を依頼される．確認 OK.  
・New York 事ム所 近藤 所長 宅へ Tel. (JST, 12:40. )  
9 月 13 日の週にフロリダで開催の ICPC 総会に，N.Y. 事ム所から出席可能かどうかを訊ねる．国別通信事情調査として アラスカの調査を 9 月に予定しており，又 9 月 6 日からの KDD 局所長会議に出席後，本社で海外事ム所長会議もあるので，どうしても というのであれば，本社から誰かを出席させるよう計らってほしいとのこと.  
・組合本部 書記長 交代で，八旗氏と，新任の松尾氏あいさつに来る.  
・臨障協 第 5 回 資料について，山村次長，畠山課長と協議.  
・浜田漁協から，日韓ケーブル保護について，ブイ設置に対する苦情と補償の問題が出てい  
るとのことで，山村次長，畠山課長に建築部と協議を指示.
- 22 日  
(木) ・埋設関係 開発のうちの，探索開発グループの打合会合に 出席.  
MARCAS による，日韓・日中ケーブル海域の底質調査等の状況報告をきく，(えびす駅前，マ  
エビルにて，13:30～17:00).
- 23 日  
(金) ・島根県機船底曳漁連(松田会長)より，日韓ケーブル露出部保護のためのブイ設置の継続に  
ついて，強硬な態度が示されているので，その対策としての補償金(迷惑料)の交渉方針  
について，建設部長より笹本常務に説明，打合せ. 小池課長，畠山課長への現地交渉方針  
を定める.  
・第 5 回臨障協会合の資料について，山村次長，佐藤調査役と協議，最終的なまとめを指  
示.
- 24 日  
(土) ・志村杯 取切り戦 ゴルフ・コンペ. (川越カントリー).
- 26 日  
(月) ・ASEAN M-S-T ケーブル布設工事に従事のため，出航する KDD 丸を横浜港で見送り.  
11 時，出港.  
KDD 石井副社長，笹本常務，KCS 木村相談役，志村社長 ほか，見送り.  
・大阪商船三井の観世氏ほかの案内で，ケーブルデポ候補用地の日本鋼管跡地を海上より見  
る. (11:00～12:00).
- 27 日(火)～30 日(金)  
・夏季 休暇.  
沖縄.
- 30 日  
(金) ・沖縄国際通信事務所で，沖本ケーブルの海洋調査の中間報告を，調査に携った海建部北村  
課長からきく.  
夜，ANA90 便で，沖縄発，東京へ戻る.

## 8 月

- 2 日  
(月) ・人事異動発令：江幡調査役，シンガポール事ム所長へ.  
・役員・部長連絡 打合せ会，14:00～ .

- (笹本常務, 技計部吉田次長, 海・技・建 部長, 建築部長).
- 3 日 (火) ・第5回日中ケーブル臨時障害対策協議会, 14:00~17:00.  
検討 経過, 今後の進め方, 等.
- 4 日 (水) ・次・課長と打合せ. (10:00~11:00)  
江幡君の異動に伴う, ケーブル船の検討体制について協議.  
① 山村次長を中心に, 海技・建部, KCS の関係者でグループをつくり検討する, (海底ケーブル委員会の廃止により, ケーブル船小委が消滅したことの措置として).  
② 新技術開発委の「ケーブル船 新技術調査 グループ」のリーダーは, 2 課山本補佐が引継ぐ.  
・OCC 斎藤氏来訪: 沖本, ANZCAN, カプリング等の状況について.  
・笹本常務と, 12 日(木) 常務会付議の「沖本ケーブル機材, 設備の手配」についての資料の検討.  
・宇和野君より, 知人令嬢(東京女子大, 国文科在学)の KDD への応募について問合せ, 事務を希望とのこと, 電話局要員は募集するが, 事務員は欠補充のみで, 縁故採用となることを説明.
- 5 日~7 日 夏季, 特別休暇.  
軽井沢, 阪本, 平山先生, 岩井さん 他.
- 9 日 (月) 次長, 課長より, 報告.  
1. 苓北沖 水深 30m 付近で, 漁業者のアンカーがケーブル(防護管?)に掛ったらしいので, ブイを打ってそのままにしてあるとのこと, ケーブル位置の確認と, ケーブルに掛っている疑いが濃ければ, ダイバーを使って処理することを指示.  
2. 二宮における台風 10 号の被害が: ① アースケーブルの羅障を ATT(Mr. Meierdietcks, Mr. McCullough)に TLX. ② ボックスカルバート内の舗装: 簡易舗装でなく, 恒久的なコンクリート舗装と, その下を管路化することの可否を沖本ケーブルの工事もあることを考慮して検討するよう指示.  
3. GNTC. 日本駐在の Mr. Larsen の代理(Mr. Radich)との会食.  
4. 沖一本ケーブル用設備の手配についての常務会資料, の改訂.  
・人事異動.  
水野君, 東京支社 保全部, 係長へ移動 昇任.
- 10 日 (火) ・日中ケーブル臨障協の討議結果に基づき, SPT へ意見交換会合を開いて協議したい旨, 水野君に Tel. させる.  
・GNTC, Mr. Radich と会食, (野村ビル, 桃里).  
山村次長, 水野君, 同席.
- 11 日 (水) ・海底ケーブル建設計画に関する連絡協議会, 第 1 回会合, (14:30~17:00).  
1. インド洋ケーブルに関するデータ集収のためのシドニー会合(8/23~ )への対処.  
2. TPC-3 計画への対応.
- 12 日 (木) ・常務会に 沖一本ケーブルの主要機材の手配について付議.  
定例記者会見で, 資料説明を途中で笹本常務が中断のため, 以降の説明を引継ぎ, 了承を得る.  
・午前 郵政省通政局での, 国際通信施設に関する連絡協議会(山村次長に代理出席を依頼)に出席の井上総計部長より, 沖本ケーブルの推渉状況について, 郵政省に説明して欲しいとの話して, 五十嵐業務課長に連絡.  
・日中ケーブルの復旧対策のその後の進捗状況について, 郵政 通政局 技術室 矢島補佐より問い合わせ. 近く衆院通信委 水野委員長 ほか 6 名の訪中があるかもしれない(8 月 25 日~), その資料収集のためとのこと.

- ・笹本常務と、常務会の状況、その他(日中ケーブルの復旧対策の検討状況の社長への報告、郵政への報告 等)について話す。
- 13 日 (金)
  - ・幹部会に、昨日 常務会審議の 沖本ケーブルの機材手配について報告。
  - ・臨時障害対策協議会 議事要旨のまとめについて、佐藤 調査役と協議。
- 16 日 (月)
  - ・笹本常務、部長 打合せ(臨時)。11:00～
  - ・常務会、定例記者会見(8/12)の模様、常務 米国出張(9 月末～10 月上旬)の予定 など。
  - ・衆院 水野通信委員長 ほか 5 名が、中国の招請で、8 月 25 日より 北京、西安を訪問する予定(総務部 梶原調査役より)で、日中ケーブルの障害復旧対策の推進状況について、郵政省 電政局 技術室より問い合わせを受けている件を報告。
  - ・臨障協における日中ケーブル復旧対策の検討状況及び SPT との意見交換会合について意向打診中であることを、社長に報告。
  - ・人事異動(8 月 9 日)に伴う、歓送迎会、(江幡、水野、藤沢君ら)―北京大飯店。
- 17 日 (火)
  - ・ソウル事ム所に依頼した鯨鯨網の動向調査の報告を笹本常務にあげる、社長、副社長へも供覧のこととする。
- 18 日 (水)
  - ・副社長への、業務説明のための、資料について検討。
- 19 日 (木)
  - ・郵政省 通政局 技術室 松尾室長、矢島補佐に、日中ケーブルの復旧対策の検討状況について訪問、説明。(11:00～11:50)、織間部長 同行。
  - 復旧が永びくと、ケーブルの存在の意義に疑問をもつ動きが出てくることが懸念されるとの意見あり。
- 20 日 (金)
  - ・笹本常務と、日中ケーブルの復旧について協議、SPT ヘルート変更について予め検討して第 3 回意見公開会合へ臨むよう電話連絡することです。
  - ・KEC. ‘国際海底ケーブル通信’の英語版 作成打合 14:00～16:00。
  - ・研究所 天野主任 研究員と、光海底ケーブル方式の研究開発のあり方等について意見交換。
- 21 日 (土)
 

休み、佼成 HP. 皮膚科。
- 23 日 (月)
  - ・日中ケーブルの復旧打合会合に対する、検討。(部内関係者、9:30～11:00)。
  - ・SPT より、会合を 9 月 21～9 月 28 日に開きたい旨の Tel. 同意。
  - その折に、ルート変更についての意見交換をしたい旨を伝える。
  - ・ルート変更が表面に出た場合の反響が大きいと考えられ、とくに、労組、NTT、地元等に対し予め うまく“ウォーニング”をしておく必要がある。
  - 畠山課長を通じ、労厚部 村上次長に、状況を伝え、組合との間に大きな問題が生じないよう配慮を求める。
- 24 日 (火)
  - ・部内 打合せ(9:30～11:30)
  - 要員計画、長計 24 号作成への対応、対漁協の連絡窓口の一本化と漁協への事前説明の要、関係中継所の合同 打合せの要、など。
  - ・広報室長(福田氏)と、日中ケーブルの復旧対策の問題と、ルート変更が事前に報道関係者に洩れた場合の懸念について協議。
  - ・当面、この情勢の変化があり得ることは、できるだけ外部に洩れないようにすることとする。
  - ・笹本常務に、日中ケーブル会合についての SPT との協議の模様、ならびにルート変更案に

より沖縄へ陸揚局を移すことの外部への影響を考慮し、関係方面への事前の非公式説明の要を述べ、了解を得る。

なお、ソウル事ム所からの調査報告の供覧により、社長もアンコウ網操業域が北緯 30° 付近までという点に関心を示されているとのこと。

- ・山村次長、湯口課長と 光海底ケーブル方式の開発の進め方について意見交換。

- 25 日  
(水)
- ・郵政省にて、電政局 業務課 内田補佐 ほかに、沖一本ケーブルの建設推渉状況について報告：(営業企画部長、ほかと)、10:00~11:30.
  - ・KCS 志村社長に、Mr. McCullough の retire に対する返電 TLX copy を渡す、ケーブルデポ等について雑談。
- 26 日  
(木)
- ・日中ケーブル復旧に関する意見交換会合の開催について SPT と協議中の状況を、社長まで連絡カードで報告。
- 27 日  
(金)
- ・幹部会議。
- 28 日  
(土)
- ・休み。  
安藤電気 岡村相談役、KCS 志村社長 と ゴルフ。
- 30 日  
(月)
- ・笹本常務に 報告。
    1. 日中ケーブル意見交換会合。
    2. Mr. Tuttle, Jr. からの Mr. McCullough の退職と、その後任に Mr. Poythress になる旨の TLX 通知。
    3. TPC-3 関連のこれ迄の会合の経緯の資料。
- 31 日  
(火)
- ・ダン科学 吉田俊雄氏に本年度の職員募集要項について連絡。  
来訪を受ける。